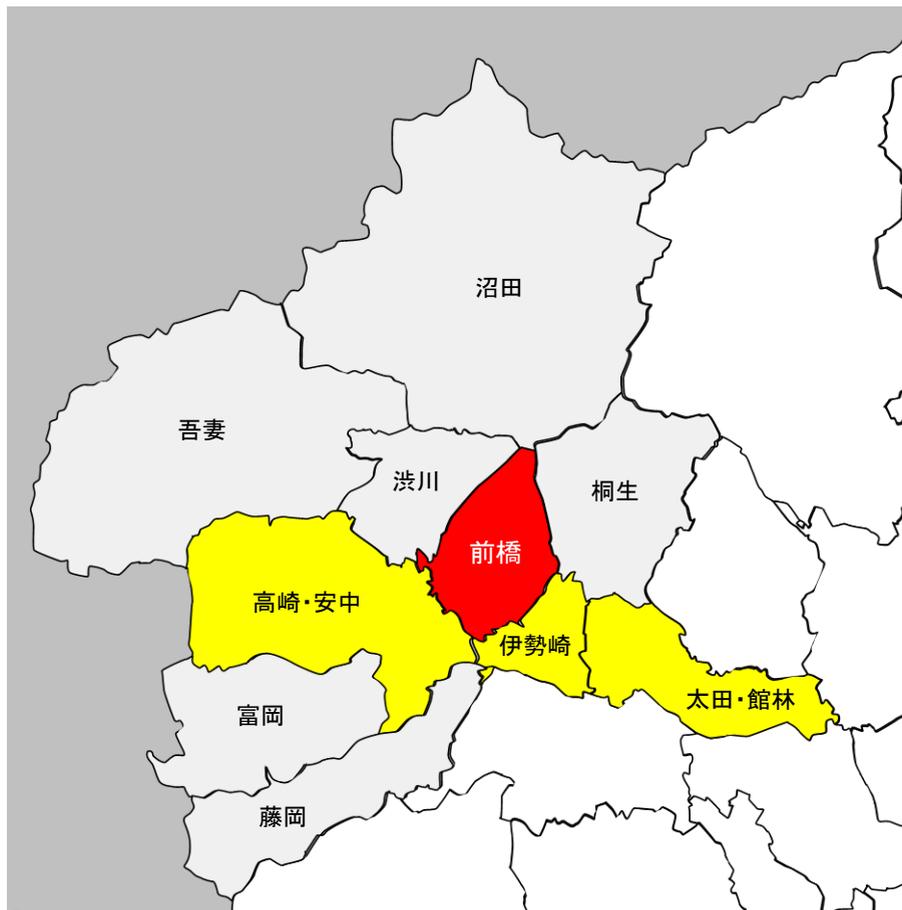


10. 群馬県

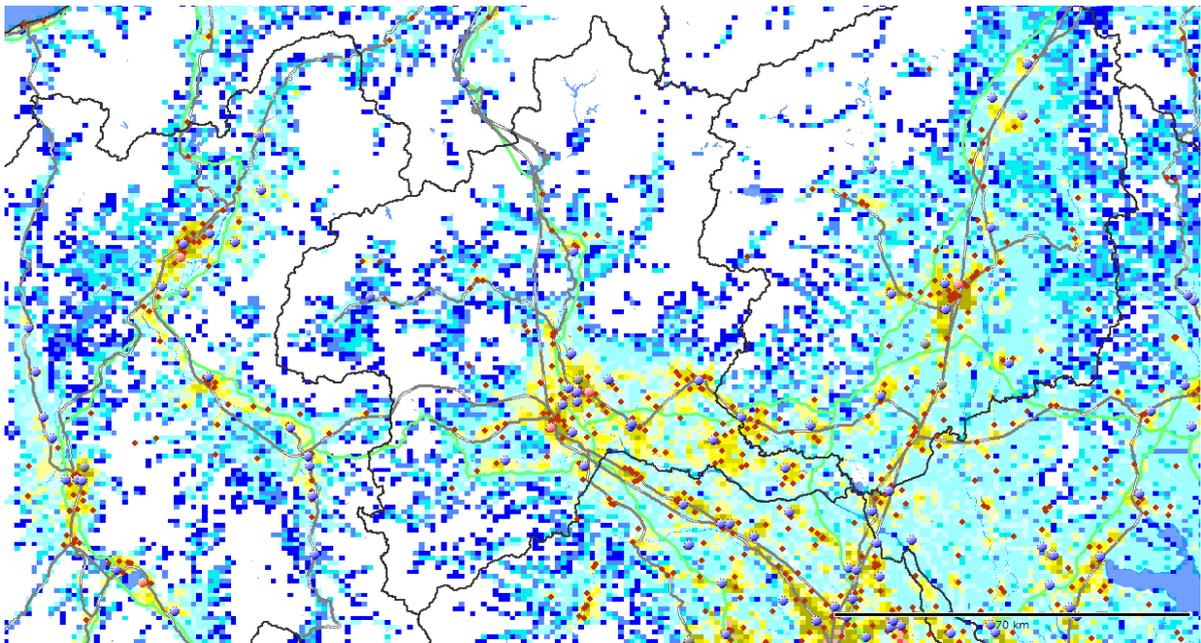


目次

群馬県	10	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	10	-	8
1. 前橋医療圏	10	-	26
2. 高崎・安中医療圏	10	-	31
3. 渋川医療圏	10	-	36
4. 藤岡医療圏	10	-	41
5. 富岡医療圏	10	-	46
6. 吾妻医療圏	10	-	51
7. 沼田医療圏	10	-	56
8. 伊勢崎医療圏	10	-	61
9. 桐生医療圏	10	-	66
10. 太田・館林医療圏	10	-	71

10. 群馬県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院



(群馬県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 群馬県は、総人口約1,973千人(2015年)、面積6,362km²、人口密度は310人/km²である。

*人口の将来予測： 群馬県の総人口は2025年に1,866千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に1,638千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の262千人が、2025年にかけて350千人へと増加し(2015年比+34%)、2040年には358千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 群馬県の一人当たり医療費(国保)は325千円(偏差値45)、介護給付費は254千円(偏差値50)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 群馬県の一人当たり急性期医療密度指数は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は0.9で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 群馬県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、29,289人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が18,292床(偏差値57)、高齢者住宅等が10,997床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、23,730人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム47、軽費ホーム45、グループホーム49、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2,992人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-14%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移

【人口と医療需要】

群馬県の総人口は、2005年2,024,135人が、2015年に1,973,115人と3%減少し、2025年の人口が1,865,565人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

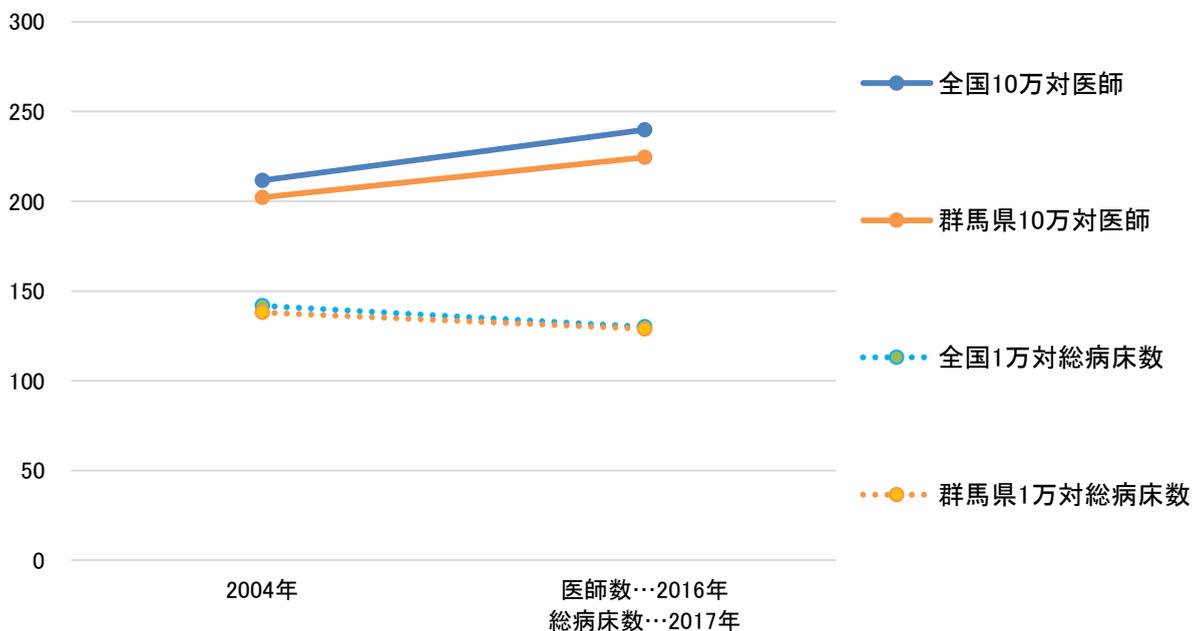
2004年の病院数が144(人口10万人当たり7.1病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2017年に130(人口10万人当たり6.6病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、13年間で14病院が減少した。

2004年の診療所数が1,511(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2017年に1,563(人口10万人当たり79診療所(全国平均80)偏差値50)と、52診療所が増加した。

2004年の総病床数が27,954床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2017年に25,436床(人口1万人当たり129(全国平均130)偏差値50)と、2,518床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

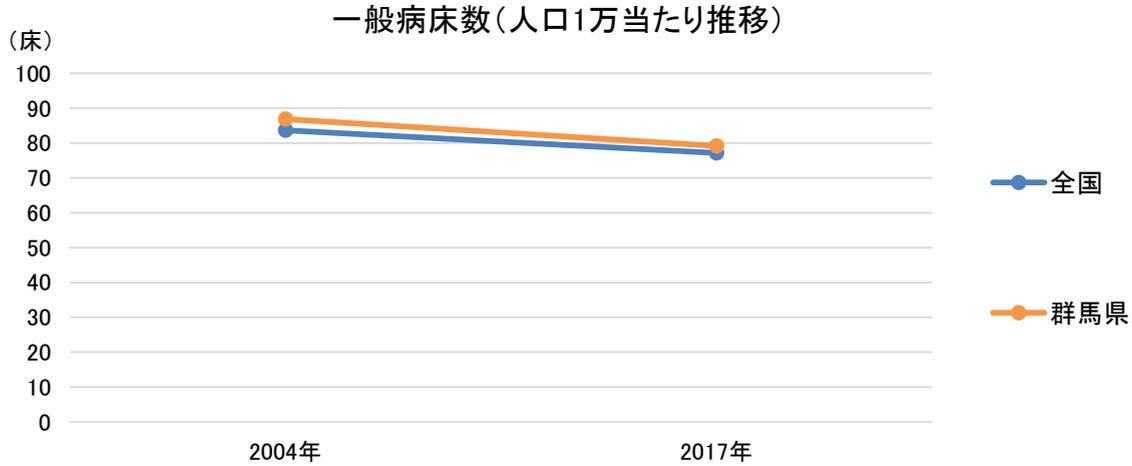
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が4,094人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に4,430人(人口10万人当たり225人(全国平均240人)偏差値48)と、336人の増加、率にして8%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



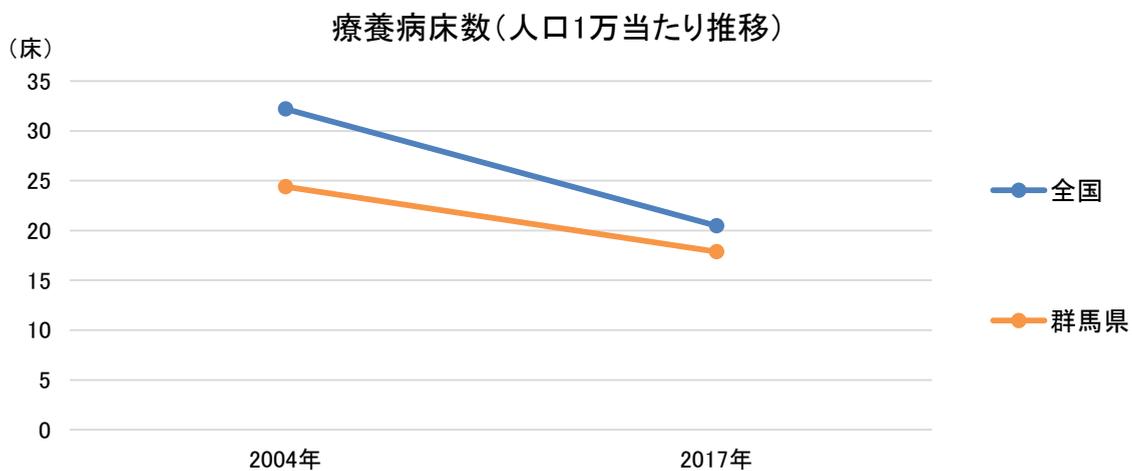
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17,582床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に15,617床(人口1万人当たり79(全国平均77)偏差値51)と、1,965床の減少、率にして11%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



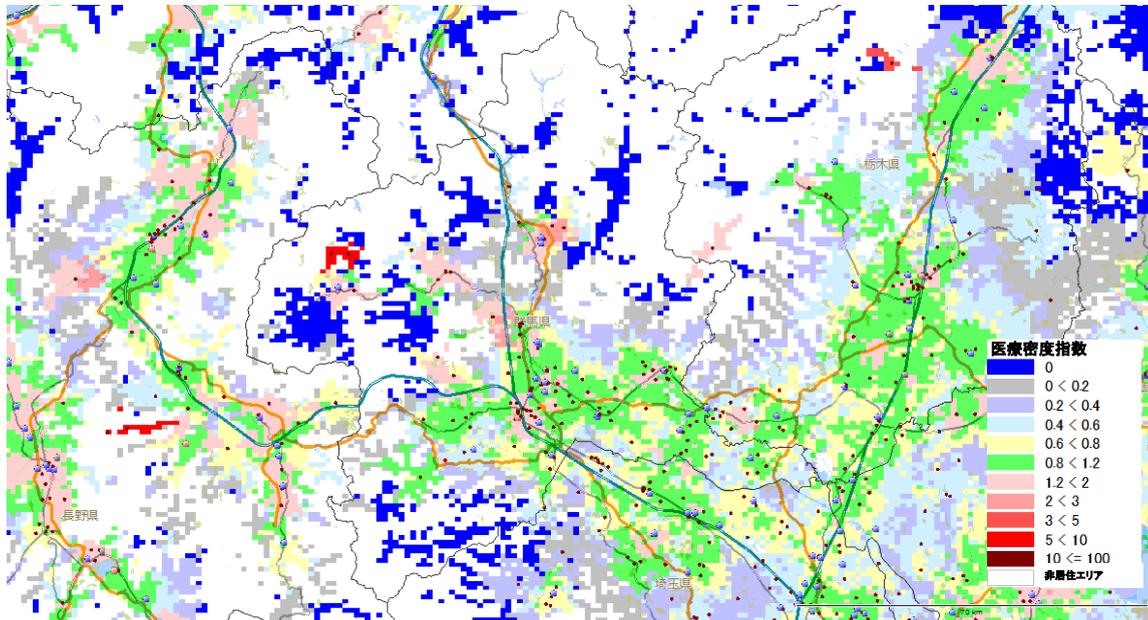
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4,839床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値46)であったが、2017年に4,677床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、162床の減少、率にして3%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



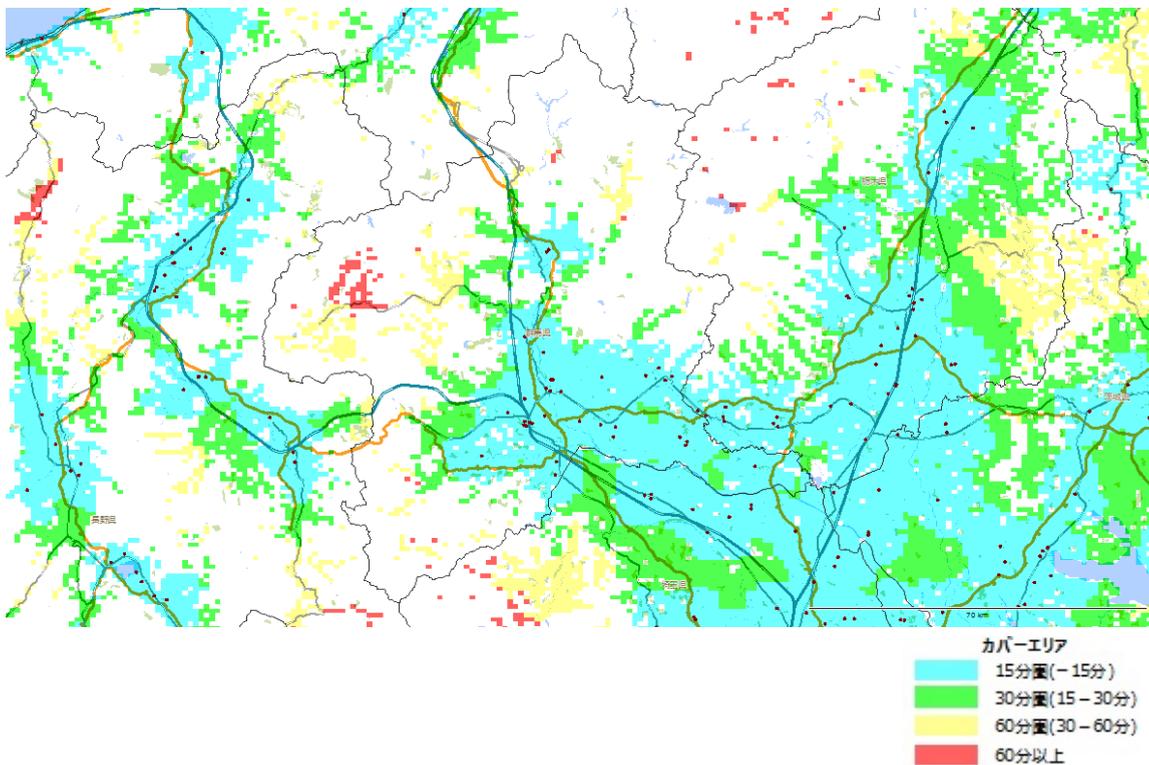
(群馬県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 10-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
群馬県	1,973	19位	6,362	21位	310.1		28%	1,866	1,638	262	350	358	-5%	-12%	34%	2%
前橋	336	17%	312	5%	1,078.8	地方都市型	28%	323	289	46	63	68	-4%	-11%	37%	8%
高崎・安中	429	22%	735	12%	583.9	地方都市型	27%	416	379	56	77	80	-3%	-9%	38%	4%
渋川	114	6%	289	5%	394.2	地方都市型	29%	105	88	16	20	21	-8%	-16%	25%	5%
藤岡	69	3%	477	7%	144.5	過疎地域型	30%	62	51	10	13	13	-10%	-18%	30%	0%
富岡	72	4%	489	8%	148.3	過疎地域型	33%	63	50	13	15	15	-13%	-21%	15%	0%
吾妻	56	3%	1,279	20%	44.1	過疎地域型	35%	47	35	11	12	11	-16%	-26%	9%	-8%
沼田	83	4%	1,766	28%	47.2	過疎地域型	32%	72	55	15	16	16	-13%	-24%	7%	0%
伊勢崎	245	12%	165	3%	1,485.7	地方都市型	23%	241	223	27	37	42	-2%	-7%	37%	14%
桐生	166	8%	483	8%	343.0	地方都市型	31%	146	116	25	32	28	-12%	-21%	28%	-13%
太田・館林	401	20%	369	6%	1,088.4	地方都市型	25%	390	351	43	64	64	-3%	-10%	49%	0%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 10-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
群馬県	0.91	0.90	24,506	27,989	-14.2%
前橋	1.04	0.78	3,778	4,875	-29.0%
高崎・安中	1.03	0.87	5,271	6,227	-18.1%
渋川	1.02	0.53	1,455	1,685	-15.8%
藤岡	0.76	0.66	972	1,051	-8.1%
富岡	0.63	1.02	1,536	1,217	20.7%
吾妻	0.60	2.13	929	988	-6.4%
沼田	0.81	1.64	1,587	1,327	16.4%
伊勢崎	0.81	0.74	2,115	2,975	-40.7%
桐生	0.91	1.16	2,200	2,547	-15.8%
太田・館林	0.84	0.80	4,663	5,095	-9.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版) 序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 10-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
群馬県	325	45	0.937	125	47	0.940	178	44	0.942	254	50
前橋	334	47	0.964	129	49	0.971	182	47	0.969	257	52
高崎・安中	336	47	0.952	131	49	0.963	182	46	0.949	264	54
渋川	345	50	0.980	142	53	1.050	180	45	0.941	268	55
藤岡	344	49	0.972	132	50	0.970	191	51	0.990	251	50
富岡	321	44	0.880	128	48	0.905	171	40	0.864	252	50
吾妻	350	51	0.985	160	59	1.163	170	39	0.879	230	44
沼田	315	43	0.927	136	51	1.033	159	33	0.863	279	58
伊勢崎	296	38	0.894	108	41	0.848	167	37	0.927	246	48
桐生	346	50	0.978	133	50	0.978	190	51	0.987	272	56
太田・館林	306	41	0.892	110	42	0.833	175	43	0.941	227	43
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 10-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
群馬県	853	45	0.914	435	48	0.929	392	41	0.906
前橋	849	44	0.916	405	45	0.873	414	47	0.964
高崎・安中	864	45	0.923	437	48	0.933	399	43	0.919
渋川	870	46	0.922	480	52	1.011	363	34	0.833
藤岡	855	45	0.927	432	47	0.932	397	42	0.930
富岡	748	36	0.799	408	45	0.862	318	22	0.741
吾妻	857	45	0.927	523	57	1.114	316	21	0.750
沼田	909	49	0.967	542	59	1.134	346	29	0.806
伊勢崎	853	44	0.915	429	47	0.921	395	42	0.911
桐生	890	48	0.954	454	50	0.973	410	46	0.946
太田・館林	826	42	0.891	390	43	0.845	410	46	0.948
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

10.群馬県(2018年版)

資_図表 10-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
群馬県	130	1.5%	6.6	50	1,563	1.5%	79	50
前橋	21	16%	6.2	49	336	21%	100	61
高崎・安中	10	8%	2.3	41	385	25%	90	55
渋川	11	8%	9.7	57	77	5%	68	44
藤岡	32	25%	46.4	137	50	3%	73	46
富岡	5	4%	6.9	51	60	4%	83	52
吾妻	4	3%	7.1	51	35	2%	62	41
沼田	9	7%	10.8	59	56	4%	67	43
伊勢崎	7	5%	2.9	42	169	11%	69	44
桐生	12	9%	7.2	51	132	8%	80	50
太田・館林	19	15%	4.7	46	263	17%	66	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 10-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
群馬県	1,563	1.5%	79	50	1,471	1.6%	75	50	92	1.3%	4.7	48
前橋	336	21%	100	61	314	21%	93	60	22	24%	6.5	51
高崎・安中	385	25%	90	55	360	24%	84	55	25	27%	5.8	50
渋川	77	5%	68	44	73	5%	64	45	4	4%	3.5	46
藤岡	50	3%	73	46	49	3%	71	48	1	1%	1.5	43
富岡	60	4%	83	52	58	4%	80	53	2	2%	2.8	45
吾妻	35	2%	62	41	32	2%	57	41	3	3%	5.3	49
沼田	56	4%	67	43	52	4%	62	44	4	4%	4.8	49
伊勢崎	169	11%	69	44	154	10%	63	44	15	16%	6.1	51
桐生	132	8%	80	50	126	9%	76	51	6	7%	3.6	47
太田・館林	263	17%	66	42	253	17%	63	44	10	11%	2.5	45
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 10-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
群馬県	24,217	1.6%	1,227	50	1,219	1.2%	62	48	25,436	1.5%	1,289	50
前橋	4,430	18%	1,318	52	329	27%	98	52	4,759	19%	1,416	52
高崎・安中	4,578	19%	1,066	47	308	25%	72	49	4,886	19%	1,138	47
渋川	2,183	9%	1,918	64	34	3%	30	45	2,217	9%	1,948	62
藤岡	898	4%	1,303	52	19	2%	28	45	917	4%	1,331	51
富岡	1,161	5%	1,602	58	28	2%	39	46	1,189	5%	1,640	56
吾妻	1,505	6%	2,669	80	40	3%	71	49	1,545	6%	2,740	77
沼田	962	4%	1,153	49	68	6%	82	50	1,030	4%	1,235	49
伊勢崎	2,701	11%	1,100	47	181	15%	74	50	2,882	11%	1,174	48
桐生	2,137	9%	1,290	51	85	7%	51	47	2,222	9%	1,342	51
太田・館林	3,662	15%	912	44	127	10%	32	45	3,789	15%	944	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 10-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
群馬県	14,461	1.6%	733	51	4,614	1.4%	234	49	5,025	1.5%	255	50
前橋	3,103	21%	923	60	408	9%	121	43	902	18%	268	50
高崎・安中	2,661	18%	620	46	1,023	22%	238	49	878	17%	204	47
渋川	1,001	7%	880	58	155	3%	136	44	977	19%	859	78
藤岡	703	5%	1,020	64	191	4%	277	51	0	0%	0	38
富岡	540	4%	745	52	257	6%	355	55	360	7%	497	61
吾妻	787	5%	1,396	81	491	11%	871	80	223	4%	395	56
沼田	688	5%	825	56	270	6%	324	53	0	0%	0	38
伊勢崎	1,468	10%	598	45	420	9%	171	46	809	16%	330	53
桐生	1,260	9%	761	53	587	13%	354	55	286	6%	173	46
太田・館林	2,250	16%	560	44	812	18%	202	47	590	12%	147	45
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 10-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期リハビリ病棟病床数				地域包括ケア病棟病床数			
	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
群馬県	1,465	1.8%	74	52	1,456	2.0%	74	52
前橋	197	13%	59	49	150	10%	45	48
高崎・安中	367	25%	85	55	248	17%	58	50
渋川	43	3%	38	44	50	3%	44	48
藤岡	55	4%	80	53	145	10%	210	74
富岡	57	4%	79	53	115	8%	159	66
吾妻	156	11%	277	96	82	6%	145	64
沼田	123	8%	147	68	183	13%	219	76
伊勢崎	190	13%	77	53	87	6%	35	46
桐生	106	7%	64	50	223	15%	135	62
太田・館林	171	12%	43	45	173	12%	43	48
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 10-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
群馬県	7,831	6,941	233	16,278	7,466	4,307	48.2%	51	5.1%	50
前橋	2,141	2,062	0	2,250	982	408	67.7%	59	0.0%	48
高崎・安中	650	594	50	3,928	2,126	914	21.8%	41	5.2%	50
渋川	600	550	0	1,583	451	155	54.9%	54	0.0%	48
藤岡	498	447	47	404	260	144	63.2%	57	24.6%	59
富岡	641	540	97	510	0	150	100.0%	71	39.3%	65
吾妻	845	579	39	597	192	405	75.1%	62	8.8%	52
沼田	179	175	0	783	513	270	25.4%	43	0.0%	48
伊勢崎	759	490	0	1,942	978	420	33.4%	46	0.0%	48
桐生	471	467	0	1,666	793	587	37.1%	47	0.0%	48
太田・館林	1,047	1,037	0	2,615	1,171	854	47.0%	51	0.0%	48
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 10-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
群馬県	30,048	0.8%	1,523	44	14,076	1.5%	713	50
前橋	11,184	37%	3,327	51	3,696	26%	1,099	64
高崎・安中	4,032	13%	939	42	3,468	25%	808	53
渋川	996	3%	875	41	552	4%	485	41
藤岡	816	3%	1,184	42	420	3%	610	46
富岡	1,488	5%	2,053	46	492	3%	679	48
吾妻	132	0%	234	39	48	0%	85	26
沼田	660	2%	791	41	252	2%	302	34
伊勢崎	3,204	11%	1,305	43	1,776	13%	724	50
桐生	804	3%	485	40	960	7%	580	44
太田・館林	6,732	22%	1,677	44	2,412	17%	601	45
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 10-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
群馬県	4,430	1.5%	225	48	2,767	1.4%	140	47	1,663	1.6%	84	52
前橋	1,487	34%	442	73	1,100	40%	327	73	387	23%	115	65
高崎・安中	860	19%	200	46	431	16%	100	42	429	26%	100	58
渋川	231	5%	203	46	156	6%	137	47	75	5%	66	44
藤岡	162	4%	235	49	102	4%	148	48	60	4%	87	53
富岡	160	4%	221	48	97	4%	134	46	63	4%	87	53
吾妻	80	2%	142	39	53	2%	94	41	27	2%	48	36
沼田	145	3%	174	43	88	3%	106	43	57	3%	68	45
伊勢崎	427	10%	174	43	238	9%	97	41	189	11%	77	48
桐生	308	7%	186	44	166	6%	100	42	142	9%	86	52
太田・館林	570	13%	142	39	336	12%	84	40	234	14%	58	40
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 10-13 専門医数 (総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
群馬県	374	1.7%	19.0	51	237	1.7%	12.0	53	167	1.5%	8.5	49
前橋	129	34%	38.4	73	75	32%	22.3	75	46	28%	13.7	62
高崎・安中	76	20%	17.7	50	46	19%	10.7	50	37	22%	8.6	49
渋川	16	4%	14.1	46	30	13%	26.4	83	9	5%	7.9	48
藤岡	28	7%	40.6	75	7	3%	10.2	49	5	3%	7.3	46
富岡	15	4%	20.7	53	6	3%	8.3	45	9	5%	12.4	59
吾妻	4	1%	7.1	38	2	1%	3.5	35	2	1%	3.5	37
沼田	23	6%	27.6	61	5	2%	6.0	40	9	5%	10.8	55
伊勢崎	37	10%	15.1	47	20	8%	8.1	45	16	10%	6.5	44
桐生	18	5%	10.9	43	26	11%	15.7	61	10	6%	6.0	43
太田・館林	28	7%	7.0	38	20	8%	5.0	38	24	14%	6.0	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 10-14 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
群馬県	88	1.6%	4.5	50	135	1.4%	6.8	47	83	1.1%	4.2	43
前橋	30	34%	8.9	71	45	33%	13.4	67	29	35%	8.6	60
高崎・安中	18	20%	4.2	49	33	24%	7.7	50	20	24%	4.7	45
渋川	7	8%	6.2	58	6	4%	5.3	42	2	2%	1.8	34
藤岡	2	2%	2.9	43	2	1%	2.9	35	2	2%	2.9	38
富岡	2	2%	2.8	42	3	2%	4.1	39	4	5%	5.5	48
吾妻	2	2%	3.5	46	2	1%	3.5	37	0	0%	0	27
沼田	3	3%	3.6	46	5	4%	6.0	45	1	1%	1.2	32
伊勢崎	10	11%	4.1	48	11	8%	4.5	40	10	12%	4.1	43
桐生	5	6%	3.0	44	10	7%	6.0	45	6	7%	3.6	41
太田・館林	9	10%	2.2	40	18	13%	4.5	40	9	11%	2.2	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 10-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
群馬県	139	1.5%	7.0	49	327	1.5%	16.6	50	257	1.6%	13.0	50
前橋	34	24%	10.1	58	107	33%	31.8	71	78	30%	23.2	72
高崎・安中	32	23%	7.5	51	53	16%	12.3	44	56	22%	13.0	50
渋川	17	12%	14.9	72	24	7%	21.1	56	9	4%	7.9	39
藤岡	2	1%	2.9	37	12	4%	17.4	51	11	4%	16.0	56
富岡	8	6%	11.0	61	8	2%	11.0	42	10	4%	13.8	52
吾妻	3	2%	5.3	44	4	1%	7.1	37	8	3%	14.2	53
沼田	1	1%	1.2	33	8	2%	9.6	40	8	3%	9.6	43
伊勢崎	21	15%	8.6	54	32	10%	13.0	45	22	9%	9.0	41
桐生	7	5%	4.2	41	23	7%	13.9	46	15	6%	9.1	42
太田・館林	14	10%	3.5	39	56	17%	13.9	46	40	16%	10.0	44
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 10-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
群馬県	95	1.6%	4.8	50	88	1.3%	4.5	46	84	1.5%	4.3	49
前橋	29	31%	8.6	69	29	33%	8.6	64	43	51%	12.8	77
高崎・安中	20	21%	4.7	50	20	23%	4.7	47	10	12%	2.3	43
渋川	6	6%	5.3	53	2	2%	1.8	35	4	5%	3.5	47
藤岡	3	3%	4.4	48	3	3%	4.4	46	3	4%	4.4	50
富岡	4	4%	5.5	54	3	3%	4.1	45	2	2%	2.8	44
吾妻	0	0%	0	28	0	0%	0	27	0	0%	0	35
沼田	2	2%	2.4	39	7	8%	8.4	63	1	1%	1.2	39
伊勢崎	9	9%	3.7	45	6	7%	2.4	38	6	7%	2.4	43
桐生	6	6%	3.6	45	3	3%	1.8	35	1	1%	0.6	37
太田・館林	16	17%	4.0	46	15	17%	3.7	43	14	17%	3.5	47
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

10.群馬県(2018年版)

資_図表 10-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
群馬県	120	1.7%	6.1	51	28	1.7%	1.4	52	38	1.0%	1.9	44
前橋	49	41%	14.6	77	13	46%	3.9	77	17	45%	5.1	61
高崎・安中	18	15%	4.2	46	4	14%	0.9	47	3	8%	0.7	38
渋川	7	6%	6.2	52	1	4%	0.9	46	3	8%	2.6	48
藤岡	5	4%	7.3	55	1	4%	1.5	52	3	8%	4.4	57
富岡	3	3%	4.1	46	2	7%	2.8	65	0	0%	0	34
吾妻	1	1%	1.8	38	1	4%	1.8	55	1	3%	1.8	44
沼田	3	3%	3.6	44	1	4%	1.2	49	2	5%	2.4	47
伊勢崎	7	6%	2.9	42	1	4%	0.4	41	3	8%	1.2	41
桐生	10	8%	6.0	51	3	11%	1.8	56	1	3%	0.6	38
太田・館林	17	14%	4.2	46	1	4%	0.2	40	5	13%	1.2	41
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 10-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテ ーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
群馬県	13	0.6%	0.7	42	35	1.4%	1.8	49
前橋	6	46%	1.8	51	10	29%	3.0	57
高崎・安中	3	23%	0.7	42	6	17%	1.4	46
渋川	1	8%	0.9	44	0	0%	0	36
藤岡	0	0%	0	37	1	3%	1.5	46
富岡	0	0%	0	37	1	3%	1.4	46
吾妻	0	0%	0	37	3	9%	5.3	74
沼田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
伊勢崎	1	8%	0.4	40	7	20%	2.9	56
桐生	1	8%	0.6	41	1	3%	0.6	40
太田・館林	1	8%	0.2	39	6	17%	1.5	47
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 10-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
群馬県	18,694	1.6%	947	52	14,786	1.6%	749	51	3,909	1.7%	198	53
前橋	4,426	24%	1,317	64	3,558	24%	1,058	64	868	22%	258	61
高崎・安中	3,816	20%	889	50	2,728	18%	635	46	1,088	28%	253	61
渋川	1,340	7%	1,177	60	1,133	8%	996	61	206	5%	181	50
藤岡	690	4%	1,001	53	531	4%	771	52	159	4%	230	57
富岡	710	4%	980	53	562	4%	775	52	148	4%	205	54
吾妻	571	3%	1,012	54	514	3%	911	58	57	1%	101	39
沼田	759	4%	909	50	640	4%	767	52	118	3%	142	45
伊勢崎	2,133	11%	869	49	1,693	11%	689	49	441	11%	179	50
桐生	1,506	8%	909	50	1,267	9%	765	52	239	6%	145	45
太田・館林	2,745	15%	684	42	2,160	15%	538	42	585	15%	146	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 10-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
群馬県	2,236	1.6%	113	51	3,798	1.3%	192	45
前橋	391	17%	116	51	864	23%	257	52
高崎・安中	476	21%	111	50	923	24%	215	48
渋川	117	5%	103	49	171	5%	150	41
藤岡	106	5%	154	58	153	4%	222	48
富岡	81	4%	112	50	120	3%	166	43
吾妻	145	6%	257	76	69	2%	122	38
沼田	178	8%	213	68	117	3%	140	40
伊勢崎	257	11%	105	49	408	11%	166	43
桐生	196	9%	118	52	289	8%	174	44
太田・館林	290	13%	72	43	684	18%	170	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 10-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
群馬県	241	1.7%	0.9	51	21	1.5%	0.1	49	201	1.8%	0.8	54
前橋	74	31%	1.6	67	3	14%	0.1	47	42	21%	0.9	61
高崎・安中	56	23%	1.0	53	8	38%	0.1	58	45	22%	0.8	56
渋川	17	7%	1.1	55	0	0%	0	38	10	5%	0.6	48
藤岡	11	5%	1.1	55	1	5%	0.1	52	7	3%	0.7	51
富岡	12	5%	0.9	51	1	5%	0.1	49	5	2%	0.4	37
吾妻	1	0%	0.1	32	2	10%	0.2	64	5	2%	0.5	40
沼田	5	2%	0.3	38	2	10%	0.1	57	8	4%	0.5	44
伊勢崎	19	8%	0.7	46	1	5%	0.0	43	20	10%	0.8	54
桐生	16	7%	0.6	45	0	0%	0	38	23	11%	0.9	61
太田・館林	30	12%	0.7	46	3	14%	0.1	48	36	18%	0.8	57
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 10-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数				介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
群馬県	29,289	1.7%	112	55	18,292	1.8%	70	57	10,997	1.6%	42	50
前橋	4,708	16%	103	49	2,769	15%	60	49	1,939	18%	42	50
高崎・安中	6,516	22%	116	57	3,672	20%	65	53	2,844	26%	51	55
渋川	1,796	6%	113	56	1,160	6%	73	60	636	6%	40	48
藤岡	1,240	4%	124	62	793	4%	79	64	447	4%	45	51
富岡	1,610	5%	125	63	1,225	7%	95	77	385	4%	30	42
吾妻	987	3%	91	42	673	4%	62	50	314	3%	29	41
沼田	1,757	6%	119	59	1,018	6%	69	56	739	7%	50	55
伊勢崎	2,811	10%	106	51	1,757	10%	66	54	1,054	10%	40	48
桐生	2,473	8%	98	47	1,827	10%	73	59	646	6%	26	39
太田・館林	5,391	18%	124	62	3,398	19%	78	64	1,993	18%	46	52
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 10-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
群馬県	6,516	1.8%	25	54	11,238	2.0%	43	58	538	0.9%	2.1	46
前橋	924	14%	20	46	1,837	16%	40	55	8	1%	0.2	41
高崎・安中	1,388	21%	25	54	2,256	20%	40	55	28	5%	0.5	42
渋川	510	8%	32	67	650	6%	41	56	0	0%	0	41
藤岡	297	5%	30	62	460	4%	46	61	36	7%	3.6	50
富岡	398	6%	31	64	699	6%	54	69	128	24%	9.9	66
吾妻	230	4%	21	48	396	4%	36	51	47	9%	4.3	52
沼田	377	6%	26	55	641	6%	43	58	0	0%	0	41
伊勢崎	582	9%	22	49	1,175	10%	44	59	0	0%	0	41
桐生	644	10%	26	55	1,183	11%	47	62	0	0%	0	41
太田・館林	1,166	18%	27	57	1,941	17%	45	59	291	54%	6.7	58
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
群馬県	2,845	1.2%	10.9	47	105	0.5%	0.4	45	3,080	1.5%	11.8	49
前橋	550	19%	12.0	48	0	0%	0	43	459	15%	10.0	46
高崎・安中	816	29%	14.5	50	0	0%	0	43	729	24%	13.0	51
渋川	79	3%	5.0	41	0	0%	0	43	216	7%	13.6	52
藤岡	35	1%	3.5	40	0	0%	0	43	144	5%	14.4	54
富岡	80	3%	6.2	42	20	19%	1.6	51	171	6%	13.3	52
吾妻	85	3%	7.8	44	0	0%	0	43	171	6%	15.7	56
沼田	360	13%	24.4	59	30	29%	2.0	53	179	6%	12.1	50
伊勢崎	133	5%	5.0	41	0	0%	0	43	225	7%	8.4	43
桐生	84	3%	3.3	40	55	52%	2.2	54	234	8%	9.3	45
太田・館林	623	22%	14.3	50	0	0%	0	43	552	18%	12.7	51
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
群馬県	4,967	2.1%	19.0	57	184	0.8%	0.7	46	4,783	2.3%	18.3	58
前橋	930	19%	20.3	59	0	0%	0	43	930	19%	20.3	61
高崎・安中	1,299	26%	23.1	63	54	29%	1.0	48	1,245	26%	22.1	64
渋川	341	7%	21.5	60	0	0%	0	43	341	7%	21.5	63
藤岡	268	5%	26.8	68	0	0%	0	43	268	6%	26.8	71
富岡	114	2%	8.9	42	40	22%	3.1	60	74	2%	5.7	39
吾妻	58	1%	5.3	37	0	0%	0	43	58	1%	5.3	39
沼田	170	3%	11.5	46	0	0%	0	43	170	4%	11.5	48
伊勢崎	696	14%	26.1	67	0	0%	0	43	696	15%	26.1	70
桐生	273	5%	10.9	45	0	0%	0	43	273	6%	10.9	47
太田・館林	818	16%	18.8	57	90	49%	2.1	54	728	15%	16.8	56
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 10-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
群馬県	2,989	1.7%	11.4	54	2,090	1.7%	8.0	53	898	1.7%	3.4	53
前橋	518	17%	11.3	53	302	14%	6.6	46	217	24%	4.7	65
高崎・安中	653	22%	11.6	55	452	22%	8.0	53	201	22%	3.6	54
渋川	157	5%	9.9	47	112	5%	7.1	49	45	5%	2.8	47
藤岡	98	3%	9.8	47	78	4%	7.8	52	20	2%	2.0	39
富岡	184	6%	14.3	66	155	7%	12.0	74	29	3%	2.3	42
吾妻	111	4%	10.2	48	83	4%	7.6	51	28	3%	2.5	44
沼田	147	5%	9.9	47	106	5%	7.2	49	41	5%	2.7	46
伊勢崎	273	9%	10.2	49	178	9%	6.7	47	95	11%	3.6	54
桐生	269	9%	10.7	51	179	9%	7.1	49	89	10%	3.5	54
太田・館林	579	19%	13.3	62	445	21%	10.2	65	134	15%	3.1	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
群馬県	26,723	1.8%	102	58	23,730	1.8%	91	61	2,992	1.4%	11.4	46
前橋	4,586	17%	100	56	3,938	17%	86	56	648	22%	14.1	51
高崎・安中	6,060	23%	108	62	5,458	23%	97	66	602	20%	10.7	45
渋川	1,648	6%	104	59	1,463	6%	92	62	185	6%	11.7	47
藤岡	898	3%	90	48	792	3%	79	50	106	4%	10.6	45
富岡	1,250	5%	97	54	1,180	5%	92	62	69	2%	5.4	35
吾妻	795	3%	73	34	733	3%	67	40	62	2%	5.7	36
沼田	1,427	5%	97	53	1,310	6%	89	59	117	4%	7.9	40
伊勢崎	2,709	10%	102	58	2,326	10%	87	58	383	13%	14.4	51
桐生	2,585	10%	103	59	2,195	9%	87	58	390	13%	15.5	53
太田・館林	4,766	18%	110	64	4,335	18%	100	69	431	14%	9.9	43
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
群馬県	17,889	1.5%	68	48	8,868	1.7%	34	52	19,801	1.6%	76	50
前橋	4,626	26%	101	57	2,207	25%	48	63	4,813	24%	105	61
高崎・安中	4,061	23%	72	49	1,229	14%	22	43	3,138	16%	56	43
渋川	560	3%	35	39	260	3%	16	39	1,061	5%	67	47
藤岡	651	4%	65	47	322	4%	32	51	1,242	6%	124	69
富岡	601	3%	47	42	281	3%	22	43	527	3%	41	37
吾妻	352	2%	32	38	431	5%	40	56	354	2%	33	34
沼田	421	2%	28	37	480	5%	32	51	908	5%	61	45
伊勢崎	1,297	7%	49	42	997	11%	37	55	2,161	11%	81	52
桐生	2,003	11%	80	51	1,039	12%	41	58	2,507	13%	100	60
太田・館林	3,317	19%	76	50	1,622	18%	37	55	3,090	16%	71	49
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 10-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
群馬県		2,024,135	1,973,115	-3%	1,865,565	-8%	10%	4%	15%
前橋	地方都市型	340,904	336,154	-1%	322,740	-5%	13%	7%	21%
高崎・安中	地方都市型	428,098	429,415	0%	416,091	-3%	13%	6%	20%
渋川	地方都市型	119,687	113,800	-5%	104,977	-12%	7%	3%	10%
藤岡	過疎地域型	73,580	68,892	-6%	62,359	-15%	6%	1%	7%
富岡	過疎地域型	81,151	72,489	-11%	63,459	-22%	0%	-1%	-1%
吾妻	過疎地域型	65,619	56,391	-14%	47,325	-28%	-3%	-6%	-8%
沼田	過疎地域型	93,927	83,407	-11%	71,843	-24%	-1%	-4%	-5%
伊勢崎	地方都市型	240,615	245,468	2%	240,843	0%	14%	8%	23%
桐生	地方都市型	180,152	165,620	-8%	146,428	-19%	6%	-2%	3%
太田・館林	地方都市型	400,402	401,479	0%	389,500	-3%	14%	7%	22%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 10-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
群馬県	144	7.1	50	130	6.6	50	-14	-10%
前橋	23	6.7	49	21	6.2	49	-2	-9%
高崎・安中	37	8.6	54	10	2.3	41	-27	-73%
渋川	12	10.0	58	11	9.7	57	-1	-8%
藤岡	6	8.2	53	32	46.4	137	26	433%
富岡	5	6.2	48	5	6.9	51	0	0%
吾妻	9	13.7	67	4	7.1	51	-5	-56%
沼田	7	7.5	51	9	10.8	59	2	29%
伊勢崎	11	4.6	43	7	2.9	42	-4	-36%
桐生	14	7.8	52	12	7.2	51	-2	-14%
太田・館林	20	5.0	45	19	4.7	46	-1	-5%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 10-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
群馬県	1,511	75	49	1,563	79	50	52	3%
前橋	355	104	64	336	100	61	-19	-5%
高崎・安中	354	83	53	385	90	55	31	9%
渋川	72	60	42	77	68	44	5	7%
藤岡	48	65	45	50	73	46	2	4%
富岡	57	70	47	60	83	52	3	5%
吾妻	37	56	40	35	62	41	-2	-5%
沼田	58	62	43	56	67	43	-2	-3%
伊勢崎	159	66	45	169	69	44	10	6%
桐生	146	81	53	132	80	50	-14	-10%
太田・館林	225	56	40	263	66	42	38	17%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 10-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
群馬県	4,094	202	49	4,430	225	48	336	8%
前橋	1,367	401	73	1,487	442	73	120	9%
高崎・安中	715	167	45	860	200	46	145	20%
渋川	205	171	45	231	203	46	26	13%
藤岡	152	207	49	162	235	49	10	7%
富岡	164	202	49	160	221	48	-4	-2%
吾妻	102	155	43	80	142	39	-22	-22%
沼田	151	161	44	145	174	43	-6	-4%
伊勢崎	381	158	44	427	174	43	46	12%
桐生	333	185	47	308	186	44	-25	-8%
太田・館林	524	131	40	570	142	39	46	9%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 10-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
群馬県	27,954	138	49	25,436	129	50	-2,518	-9%
前橋	5,099	150	51	4,759	142	52	-340	-7%
高崎・安中	5,138	120	46	4,886	114	47	-252	-5%
渋川	2,306	193	59	2,217	195	62	-89	-4%
藤岡	1,019	138	49	917	133	51	-102	-10%
富岡	1,245	153	52	1,189	164	56	-56	-4%
吾妻	1,894	289	76	1,545	274	77	-349	-18%
沼田	1,227	131	48	1,030	123	49	-197	-16%
伊勢崎	3,109	129	48	2,882	117	48	-227	-7%
桐生	2,679	149	51	2,222	134	51	-457	-17%
太田・館林	4,238	106	44	3,789	94	43	-449	-11%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 10-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
群馬県	17,582	87	51	15,617	79	51	-1,965	-11%
前橋	3,622	106	58	3,418	102	59	-204	-6%
高崎・安中	3,258	76	47	2,969	69	47	-289	-9%
渋川	1,083	90	52	1,035	91	55	-48	-4%
藤岡	833	113	60	722	105	61	-111	-13%
富岡	576	71	46	549	76	49	-27	-5%
吾妻	1,368	208	94	827	147	77	-541	-40%
沼田	824	88	51	756	91	55	-68	-8%
伊勢崎	1,579	66	44	1,631	66	46	52	3%
桐生	1,717	95	54	1,333	80	51	-384	-22%
太田・館林	2,722	68	44	2,377	59	43	-345	-13%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 10-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
群馬県	4,839	24	46	4,677	18	48	-162	-3%
前橋	459	14	40	422	9	40	-37	-8%
高崎・安中	972	24	45	1,023	18	48	51	5%
渋川	200	16	41	155	10	41	-45	-23%
藤岡	182	23	45	191	19	49	9	5%
富岡	305	27	47	276	21	51	-29	-10%
吾妻	299	32	50	491	45	72	192	64%
沼田	351	28	47	270	18	48	-81	-23%
伊勢崎	586	31	49	438	16	46	-148	-25%
桐生	592	30	49	599	24	53	7	1%
太田・館林	893	28	47	812	19	48	-81	-9%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

(前橋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 前橋(前橋市)は、総人口約336千人(2015年)、面積312km²、人口密度は1,079人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 前橋の総人口は2025年に323千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に289千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の46千人が、2025年にかけて63千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には68千人へと増加する(2025年比+8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 前橋の一人当たり医療費(国保)は334千円(偏差値47)、介護給付費は257千円(偏差値52)であり、医療費はやや低い、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 前橋の一人当たり急性期医療密度指数は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は0.78で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が73(病院医師数73、診療所医師数65)と、総医師数は非常に多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。前橋には、年間全身麻酔件数が2000例以上の前橋赤十字病院(Ⅱ群)、群馬大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の群馬県済生会前橋病院(Ⅲ群)、500例以上の群馬県立心臓血管センター(Ⅲ群)、JCHO群馬中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 前橋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4,708人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2,769床(偏差値49)、高齢者住宅等が1,939床(偏差値50)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,938人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム48、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住59である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値67と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、648人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-29%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(前橋医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

前橋医療圏の総人口は、2005年340,904人が、2015年に336,154人と1%減少し、2025年の人口が322,740人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

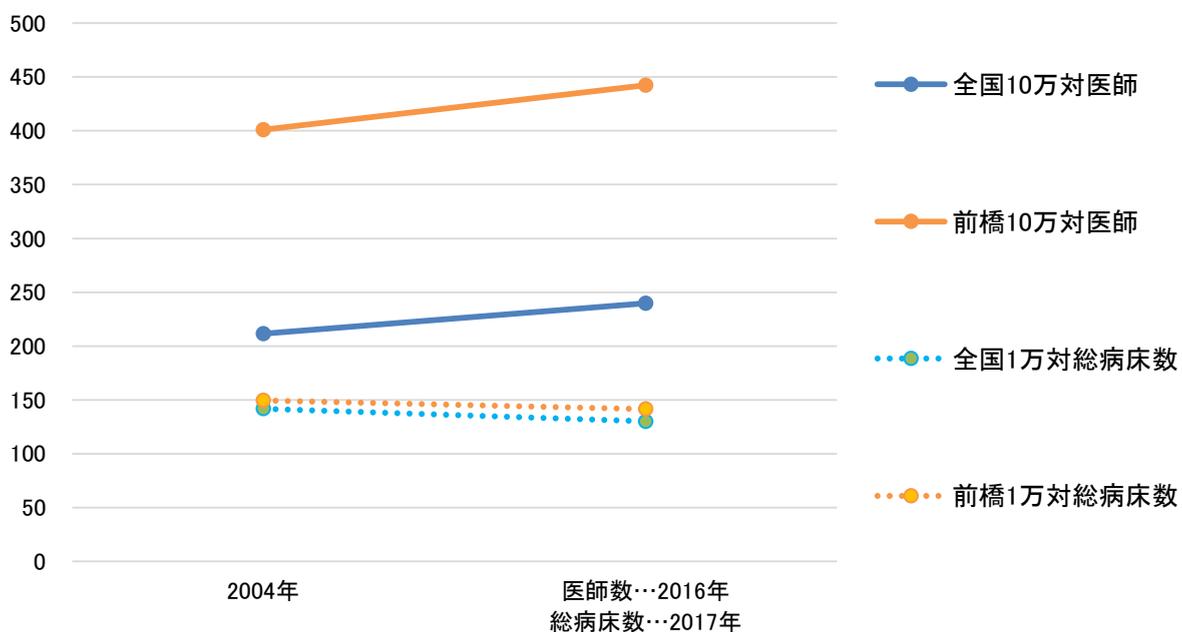
2004年の病院数が23(人口10万人当たり6.7病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2017年に21(人口10万人当たり6.2病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が355(人口10万人当たり104診療所(全国平均76)偏差値64)であったが、2017年に336(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値61)と、19診療所が減少した。

2004年の総病床数が5,099床(人口1万人当たり150(全国平均142)偏差値51)であったが、2017年に4,759床(人口1万人当たり142(全国平均130)偏差値52)と、340床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

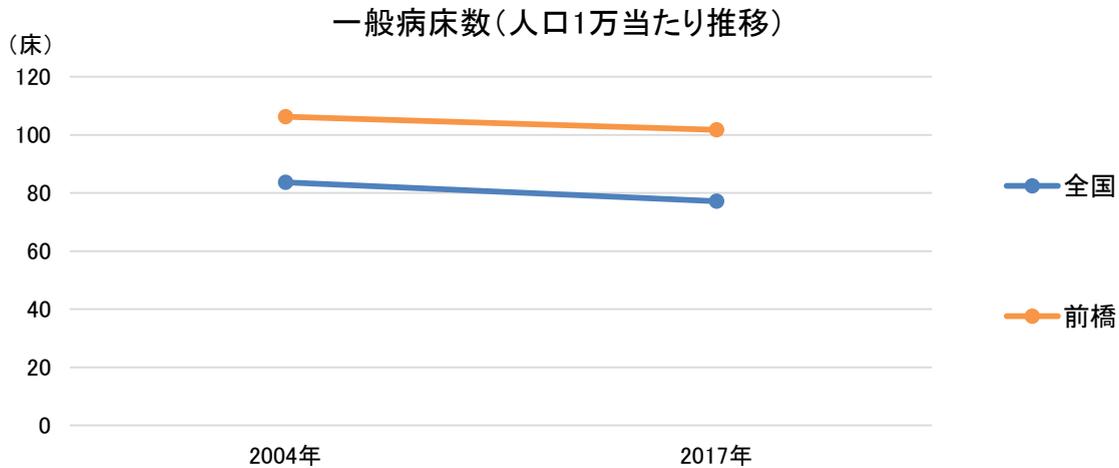
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,367人(人口10万人当たり401人(全国平均212人)偏差値73)であったが、2016年に1,487人(人口10万人当たり442人(全国平均240人)偏差値73)と、120人の増加、率にして9%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



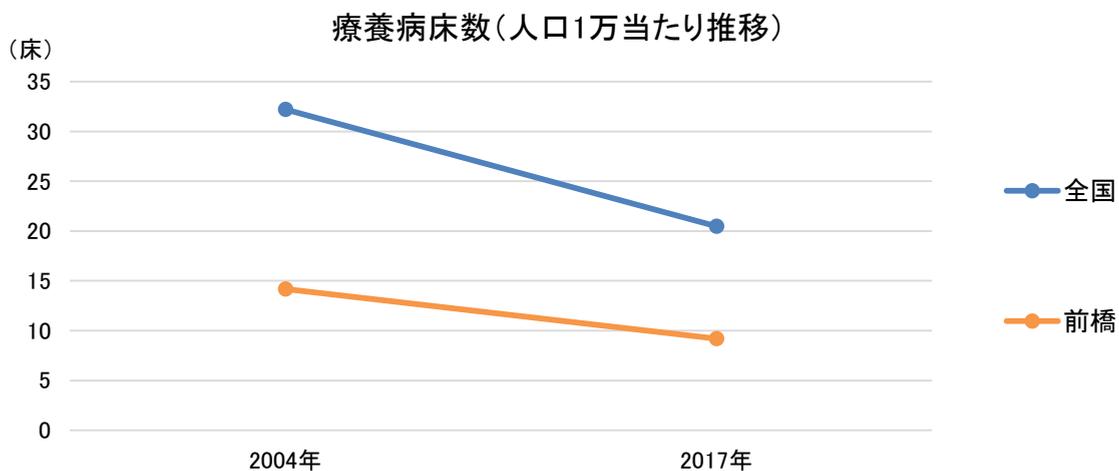
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,622床(人口1万人当たり106(全国平均84)偏差値58)であったが、2017年に3,418床(人口1万人当たり102(全国平均77)偏差値59)と、204床の減少、率にして6%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



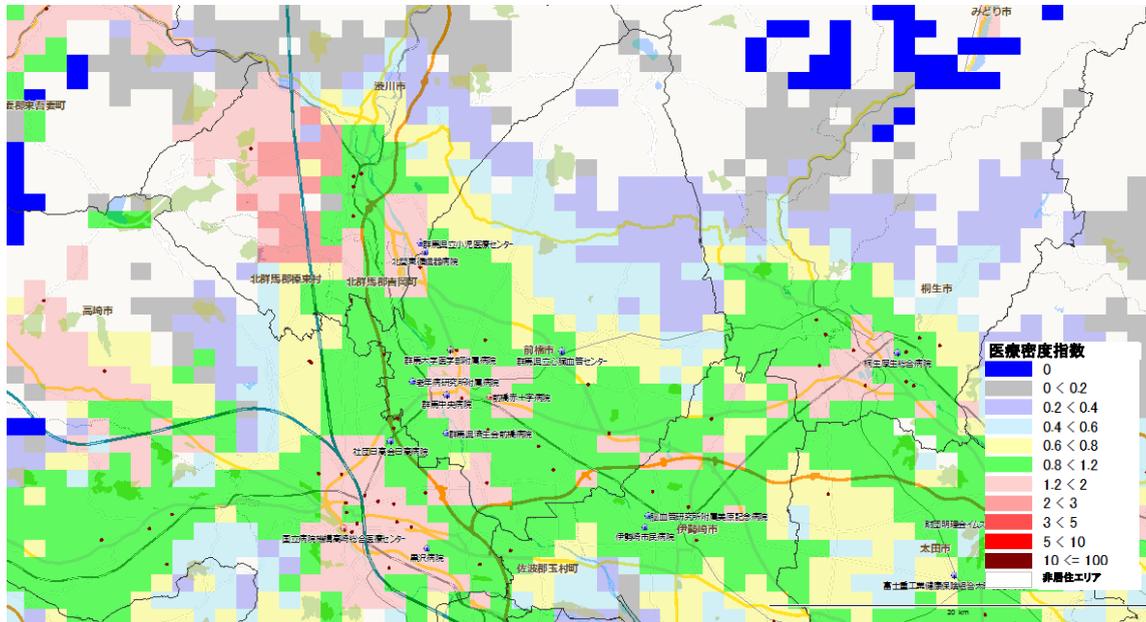
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が459床(75歳以上1,000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に422床(75歳以上1,000人当たり9(全国平均20)偏差値40)と、37床の減少、率にして8%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



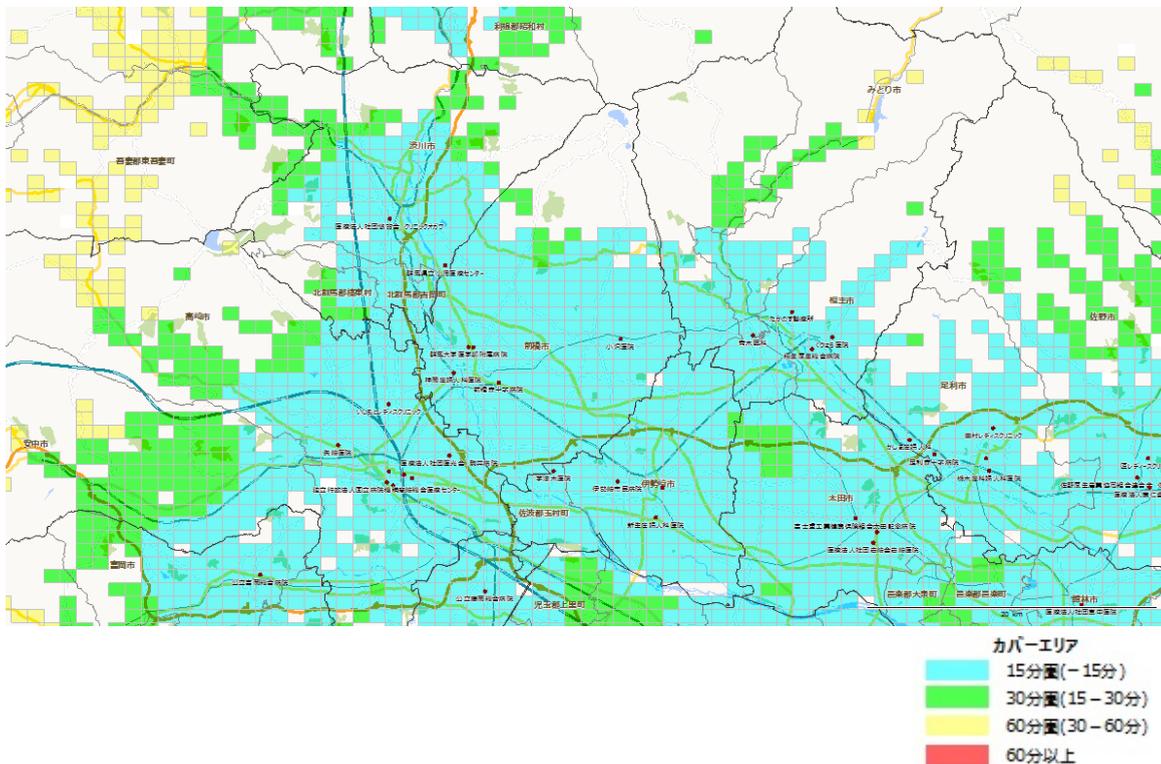
(前橋医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

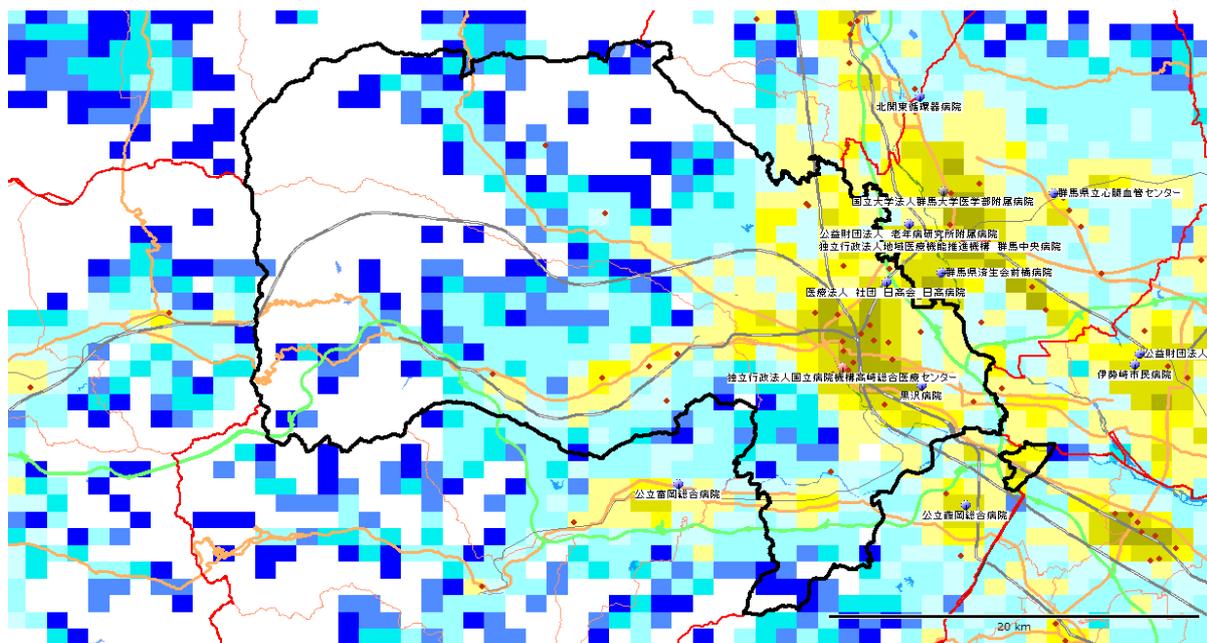


10-2. たかさき あんなか 高崎・安中医療圏

構成市区町村 [高崎市](#) [安中市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(高崎・安中医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 高崎・安中(高崎市)は、総人口約429千人(2015年)、面積735km²、人口密度は584人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 高崎・安中の総人口は2025年に416千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に379千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の56千人が、2025年にかけて77千人へと増加し(2015年比+38%)、2040年には80千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 高崎・安中の一人当たり医療費(国保)は336千円(偏差値47)、介護給付費は264千円(偏差値54)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 高崎・安中の一人当たり急性期医療密度指数は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数は0.87で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数42、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多く、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。高崎・安中には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNHQ高崎総合医療センター(Ⅱ群・救命)、500例以上の日高病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 高崎・安中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,516人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,672床(偏差値53)、高齢者住宅等が2,844床(偏差値55)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,458人(75歳以上1,000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム50、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住63である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値53とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、602人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-18%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(高崎・安中医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

高崎・安中医療圏の総人口は、2005年428,098人が、2015年に429,415人と1%未満増加し、2025年の人口が416,091人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

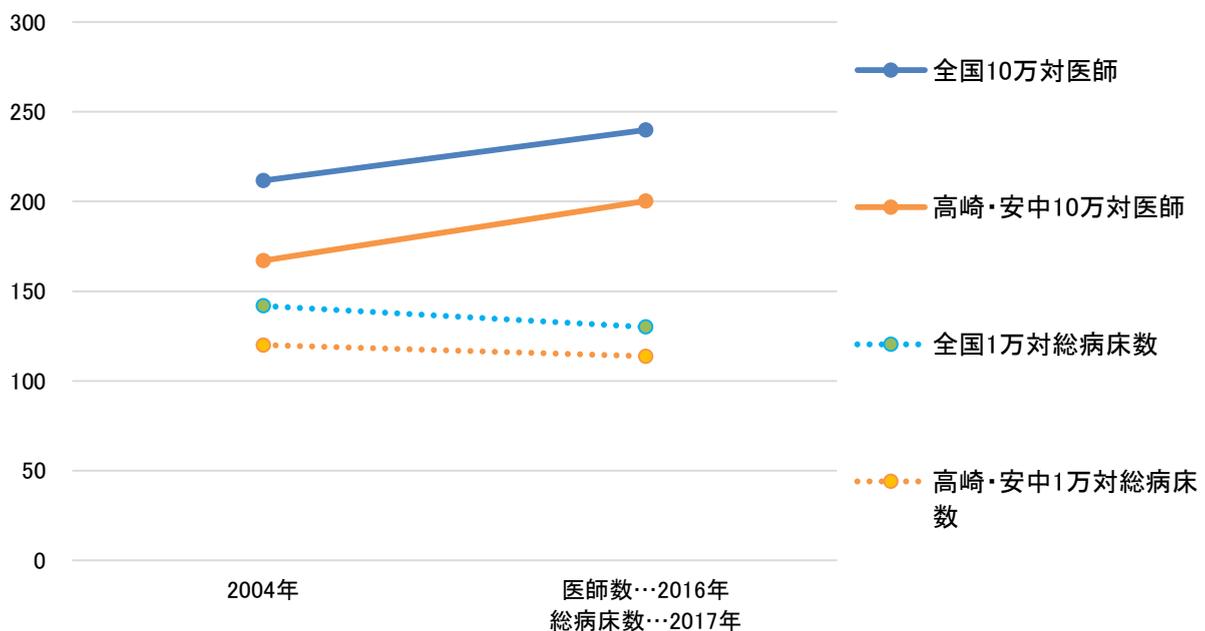
2004年の病院数が37(人口10万人当たり8.6病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2017年に10(人口10万人当たり2.3病院(全国平均6.6)偏差値41)となり、13年間で27病院が減少した。

2004年の診療所数が354(人口10万人当たり83診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に385(人口10万人当たり90診療所(全国平均80)偏差値55)と、31診療所が増加した。

2004年の総病床数が5,138床(人口1万人当たり120(全国平均142)偏差値46)であったが、2017年に4,886床(人口1万人当たり114(全国平均130)偏差値47)と、252床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

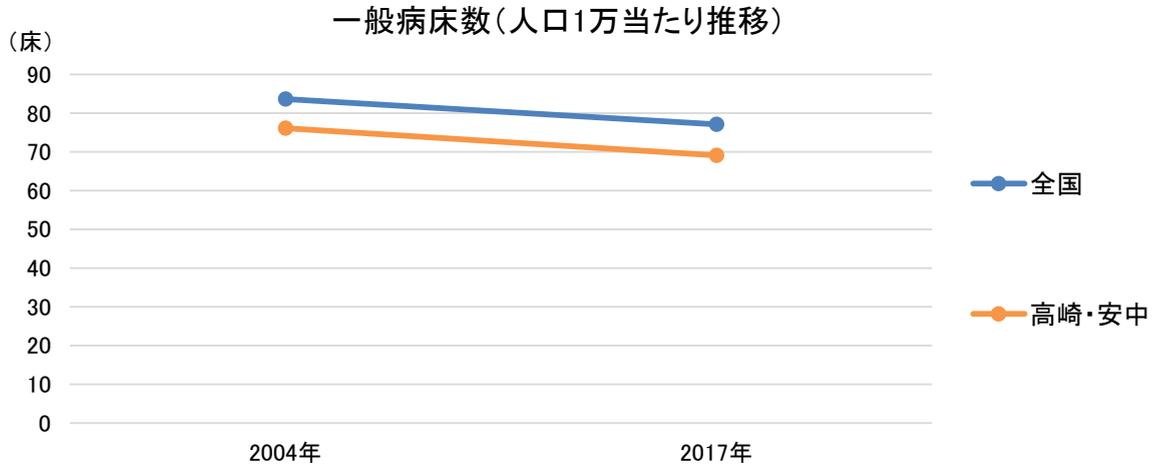
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が715人(人口10万人当たり167人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に860人(人口10万人当たり200人(全国平均240人)偏差値46)と、145人の増加、率にして20%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



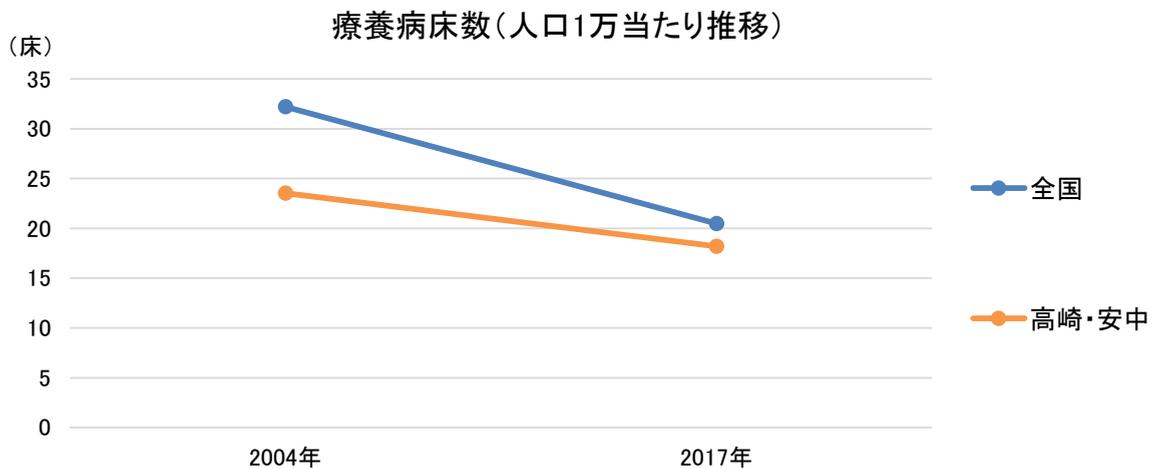
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,258床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2017年に2,969床(人口1万人当たり69(全国平均77)偏差値47)と、289床の減少、率にして9%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



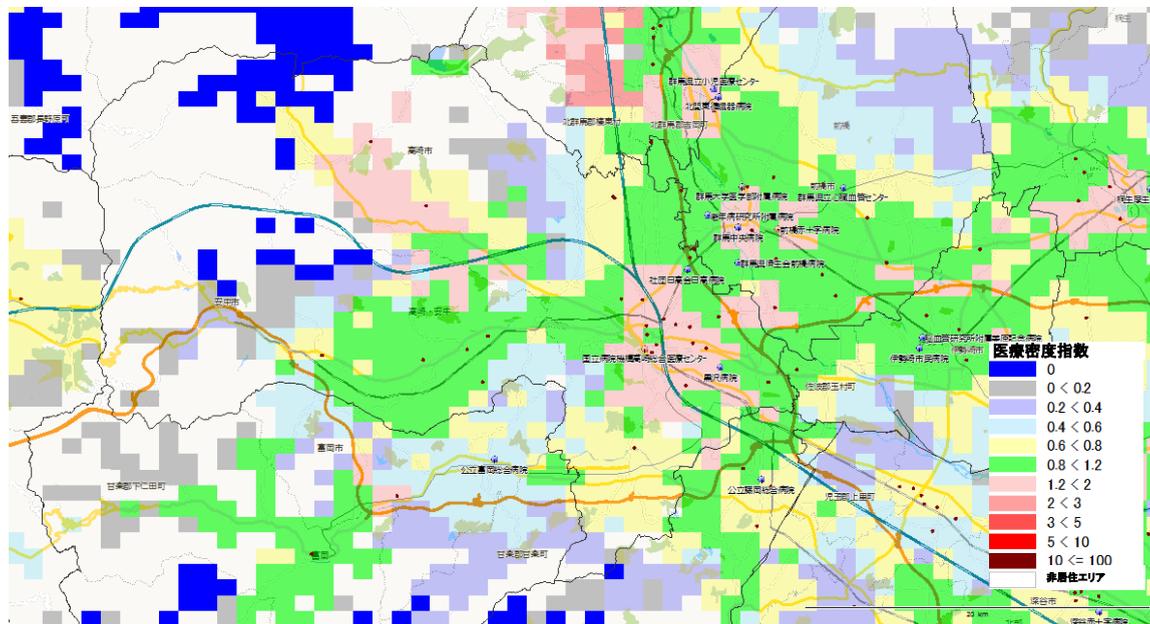
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が972床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に1,023床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、51床の増加、率にして5%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



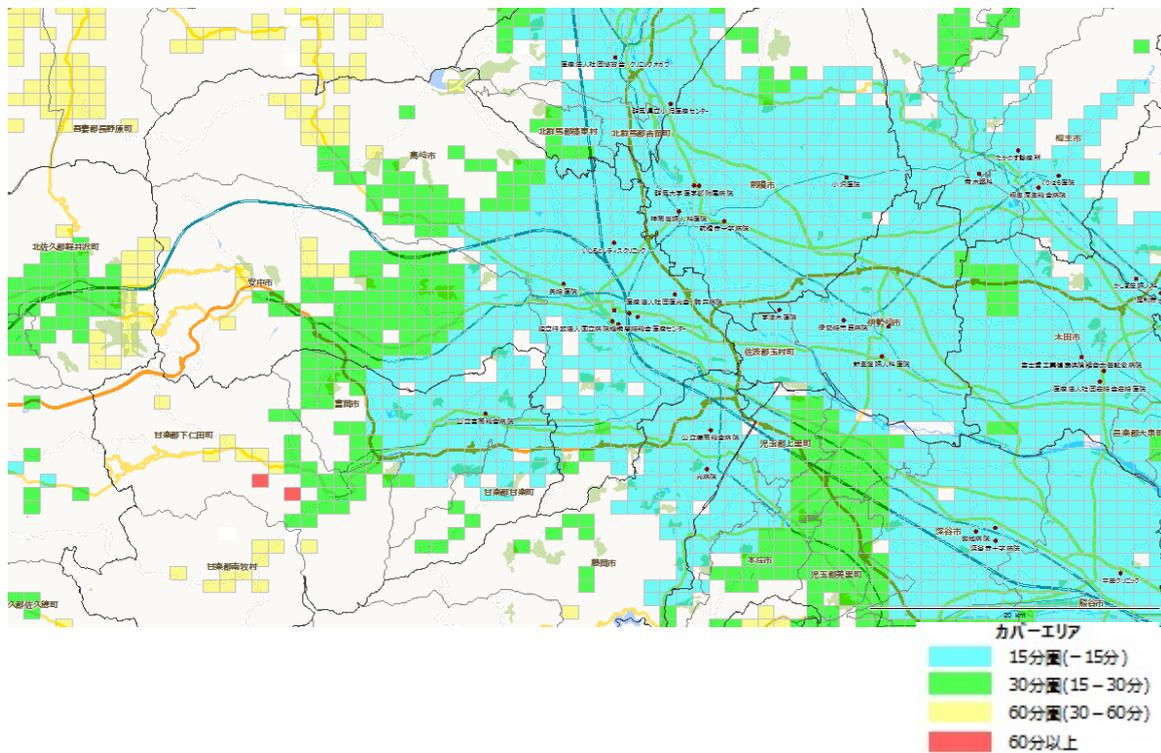
(高崎・安中医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

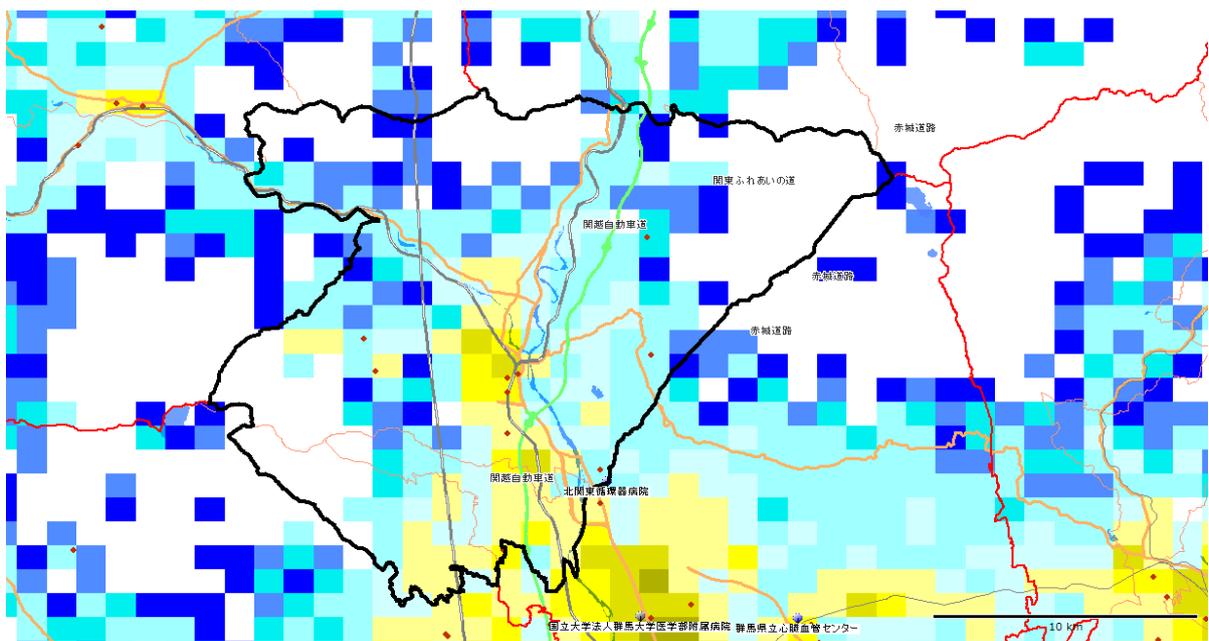


10-3. しづかわ 渋川医療圏

構成市区町村 [渋川市](#) [榛東村](#) [吉岡町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(渋川医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 渋川(渋川市)は、総人口約114千人(2015年)、面積289km²、人口密度は394人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 渋川の総人口は2025年に105千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に88千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には21千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 渋川の一人当たり医療費(国保)は345千円(偏差値50)、介護給付費は268千円(偏差値55)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 渋川の一人当たり急性期医療密度指数は1.02、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が46(病院医師数47、診療所医師数44)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。渋川には、年間全身麻酔件数が500例以上の渋川医療センター(Ⅲ群)、群馬県立小児医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は78で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 渋川の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,796人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,160床(偏差値60)、高齢者住宅等が636床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,463人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム52、サ高住60である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、185人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(渋川医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

渋川医療圏の総人口は、2005年119,687人が、2015年に113,800人と5%減少し、2025年の人口が104,977人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

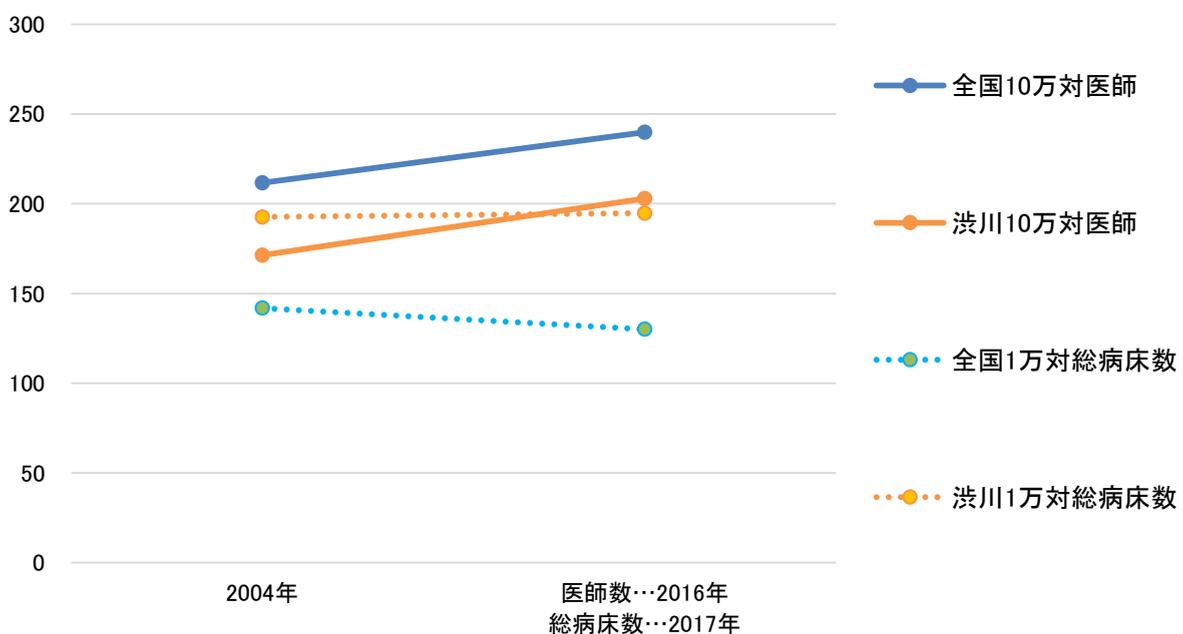
2004年の病院数が12(人口10万人当たり10病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2017年に11(人口10万人当たり9.7病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が72(人口10万人当たり60診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2017年に77(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が2,306床(人口1万人当たり193(全国平均142)偏差値59)であったが、2017年に2,217床(人口1万人当たり195(全国平均130)偏差値62)と、89床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

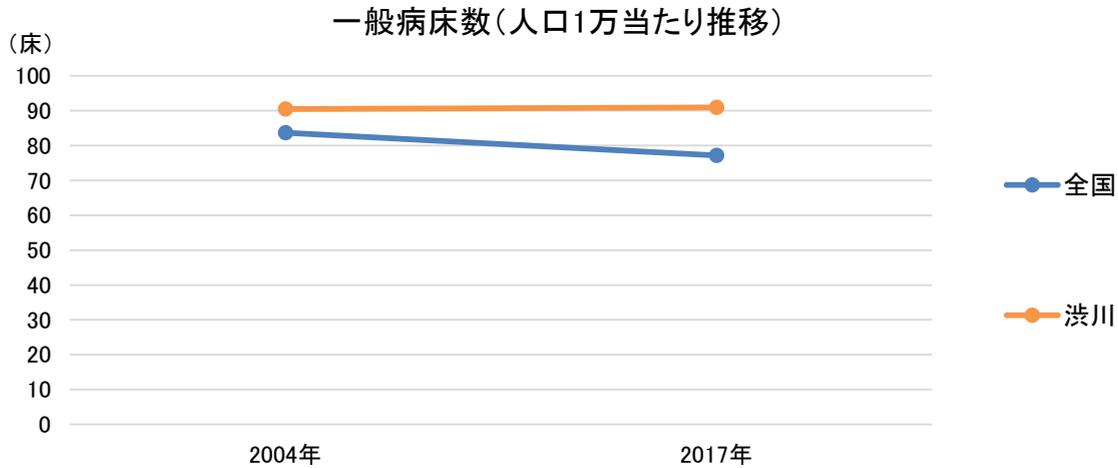
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が205人(人口10万人当たり171人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2016年に231人(人口10万人当たり203人(全国平均240人)偏差値46)と、26人の増加、率にして13%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



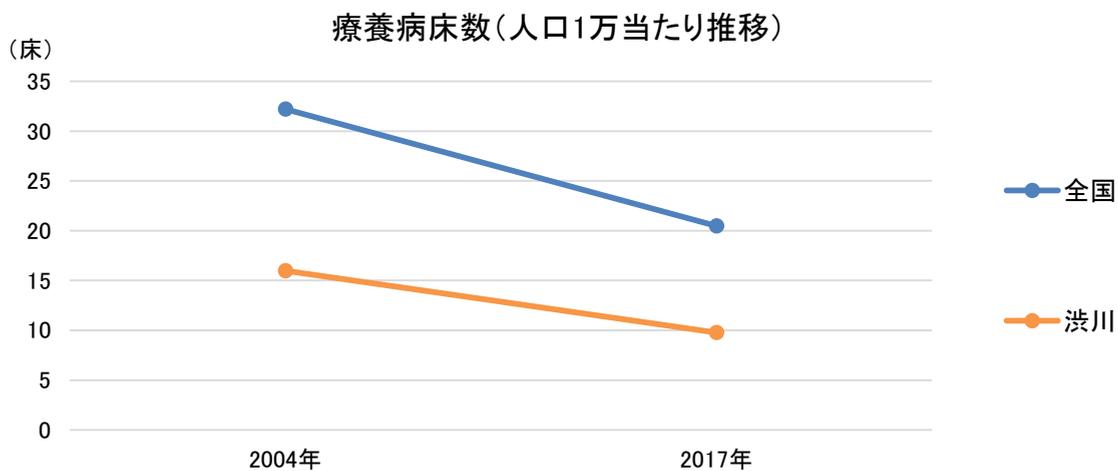
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,083床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2017年に1,035床(人口1万人当たり91(全国平均77)偏差値55)と、48床の減少、率にして4%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



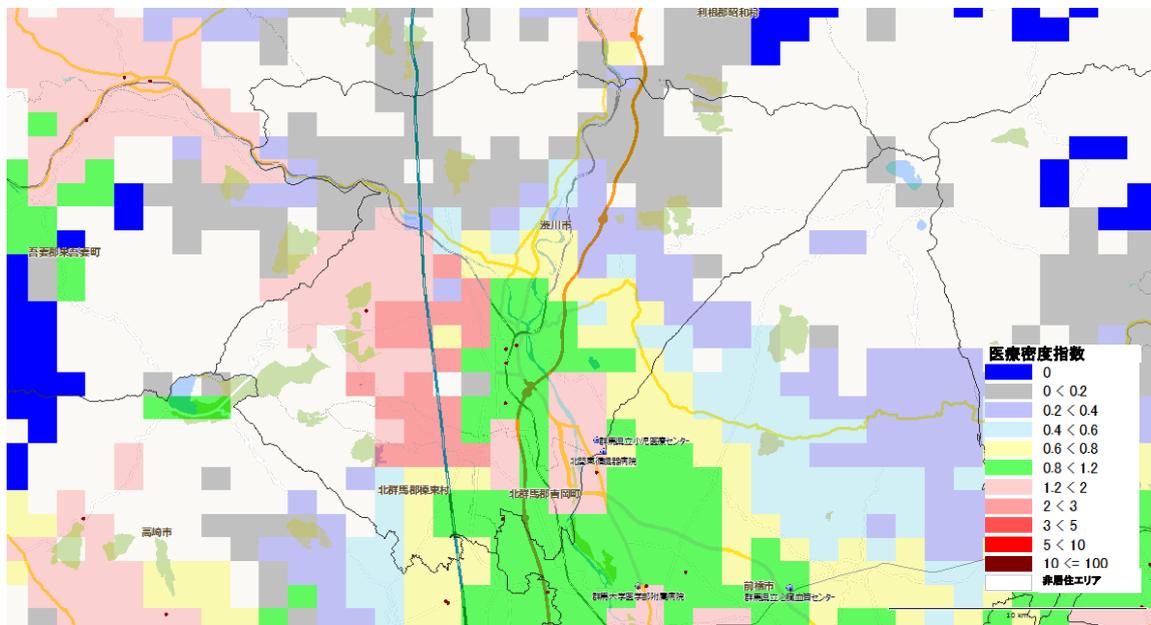
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が200床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均32)偏差値41)であったが、2017年に155床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、45床の減少、率にして23%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



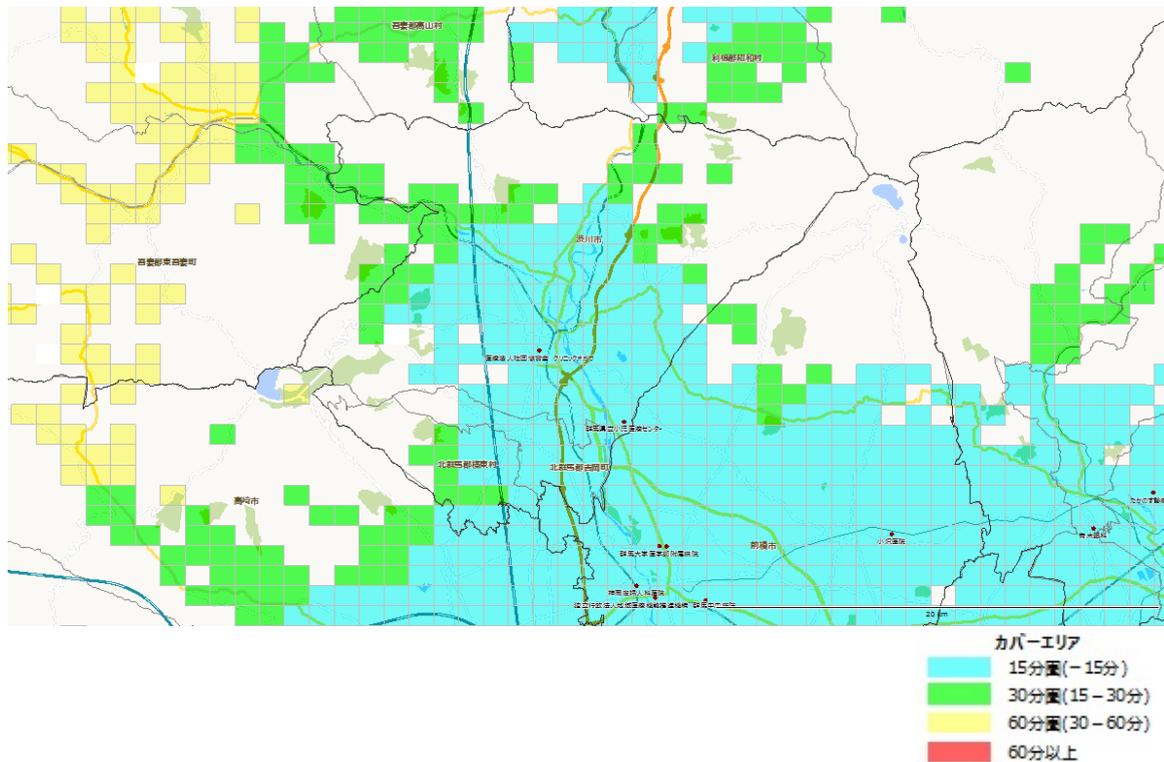
(渋川医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-3-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

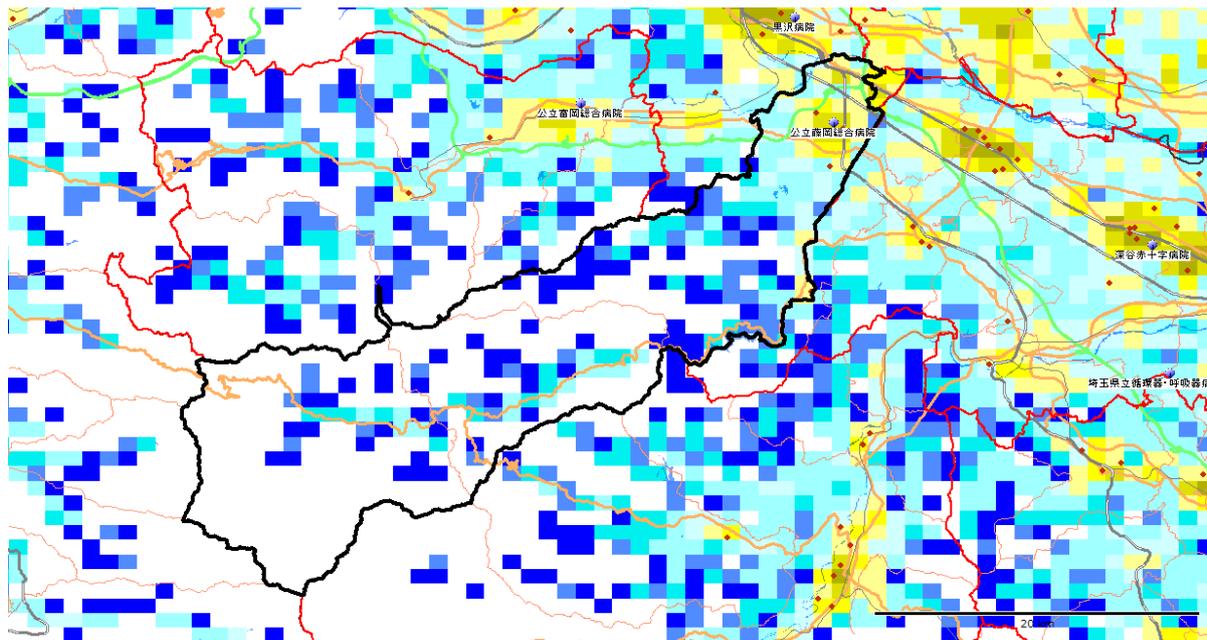


10-4. ふじおか 藤岡医療圏

構成市区町村 [藤岡市](#) [上野村](#) [神流町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



● 一般病院

(藤岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 藤岡(藤岡市)は、総人口約69千人(2015年)、面積477km²、人口密度は145人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 藤岡の総人口は2025年に62千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に51千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には13千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 藤岡の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値49)、介護給付費は251千円(偏差値50)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 藤岡の一人当たり急性期医療密度指数は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は42と少ない。藤岡には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立藤岡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は46で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 藤岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,240人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が793床(偏差値64)、高齢者住宅等が447床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、792人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム61、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム40、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム54、サ高住68である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値55とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、106人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(藤岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

藤岡医療圏の総人口は、2005年73,580人が、2015年に68,892人と6%減少し、2025年の人口が62,359人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

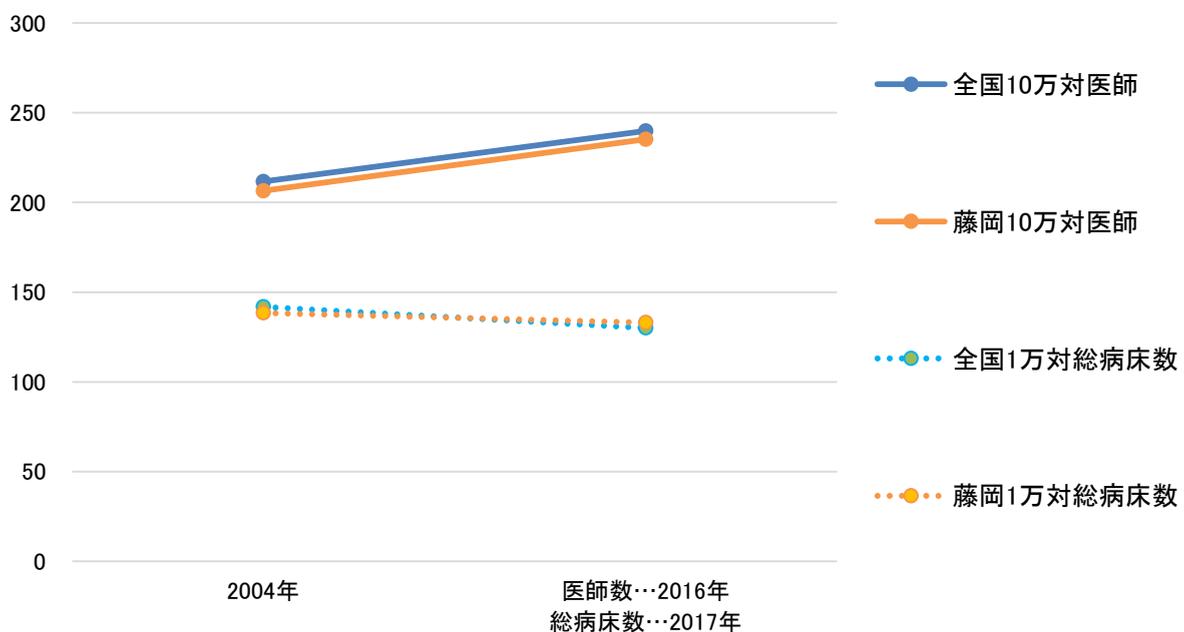
2004年の病院数が6(人口10万人当たり8.2病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2017年に32(人口10万人当たり46.4病院(全国平均6.6)偏差値137)となり、13年間で26病院が増加した。

2004年の診療所数が48(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に50(人口10万人当たり73診療所(全国平均80)偏差値46)と、2診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,019床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2017年に917床(人口1万人当たり133(全国平均130)偏差値51)と、102床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

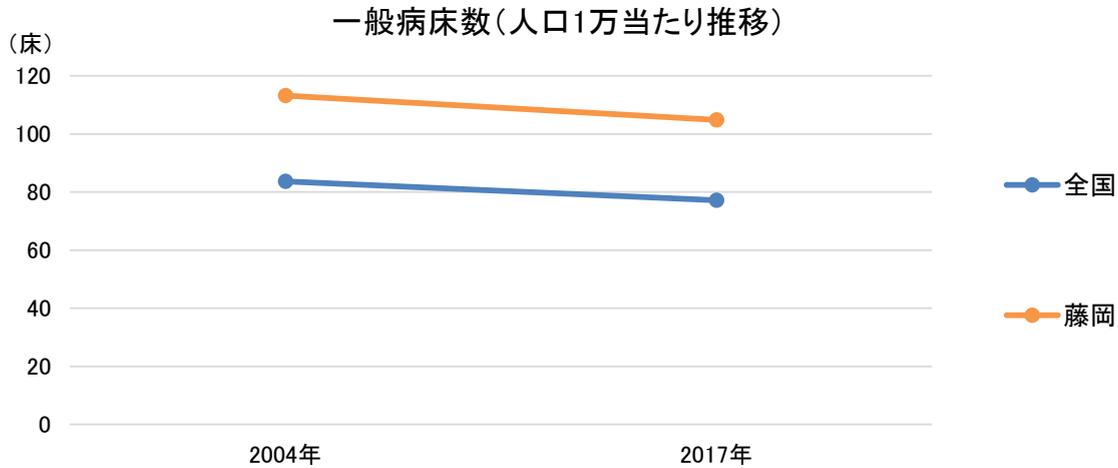
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が152人(人口10万人当たり207人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に162人(人口10万人当たり235人(全国平均240人)偏差値49)と、10人の増加、率にして7%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



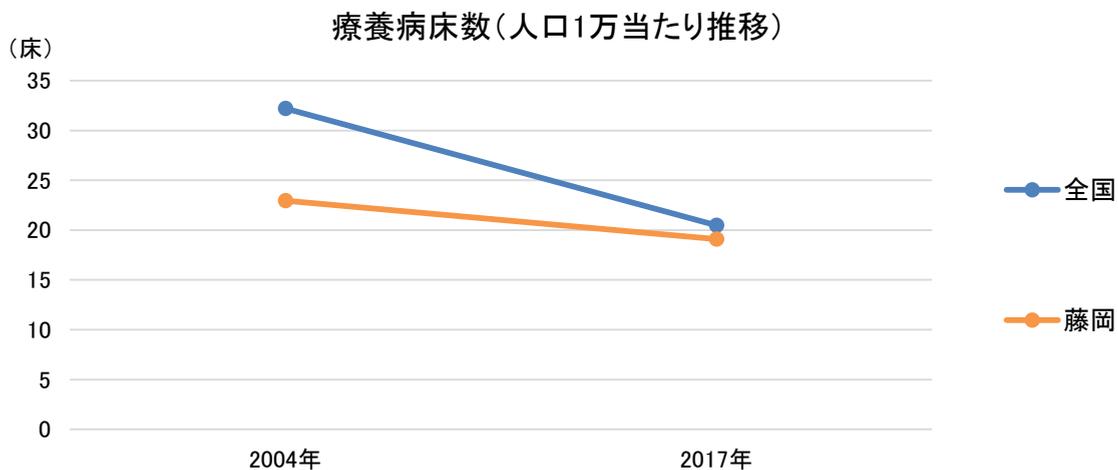
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が833床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値60)であったが、2017年に722床(人口1万人当たり105(全国平均77)偏差値61)と、111床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



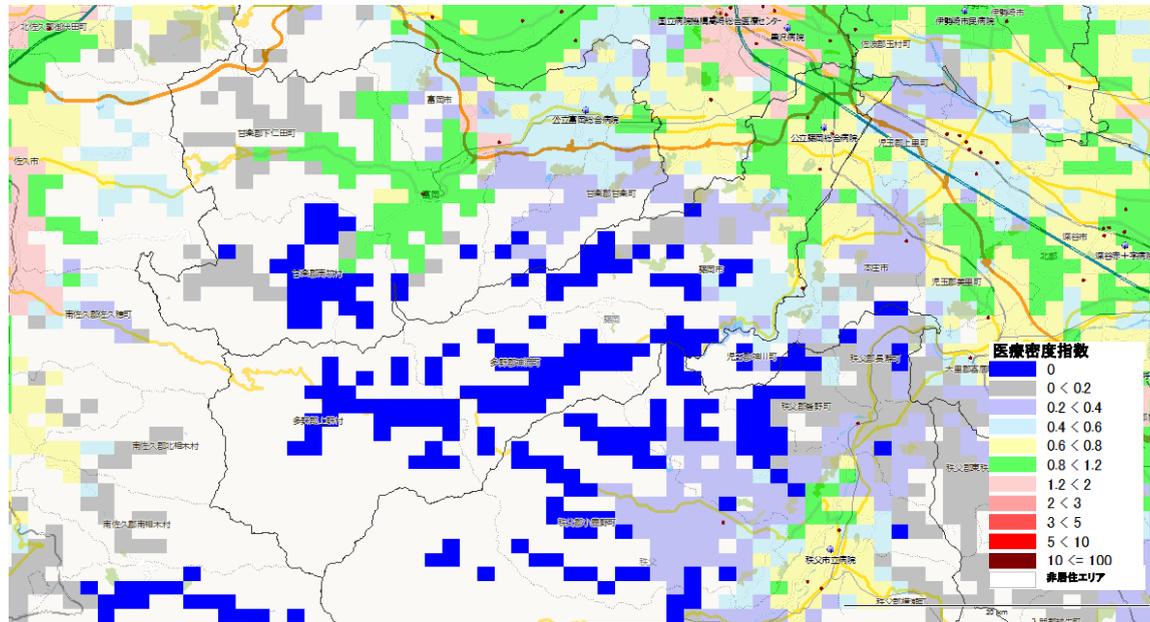
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が182床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値45)であったが、2017年に191床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値49)と、9床の増加、率にして5%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



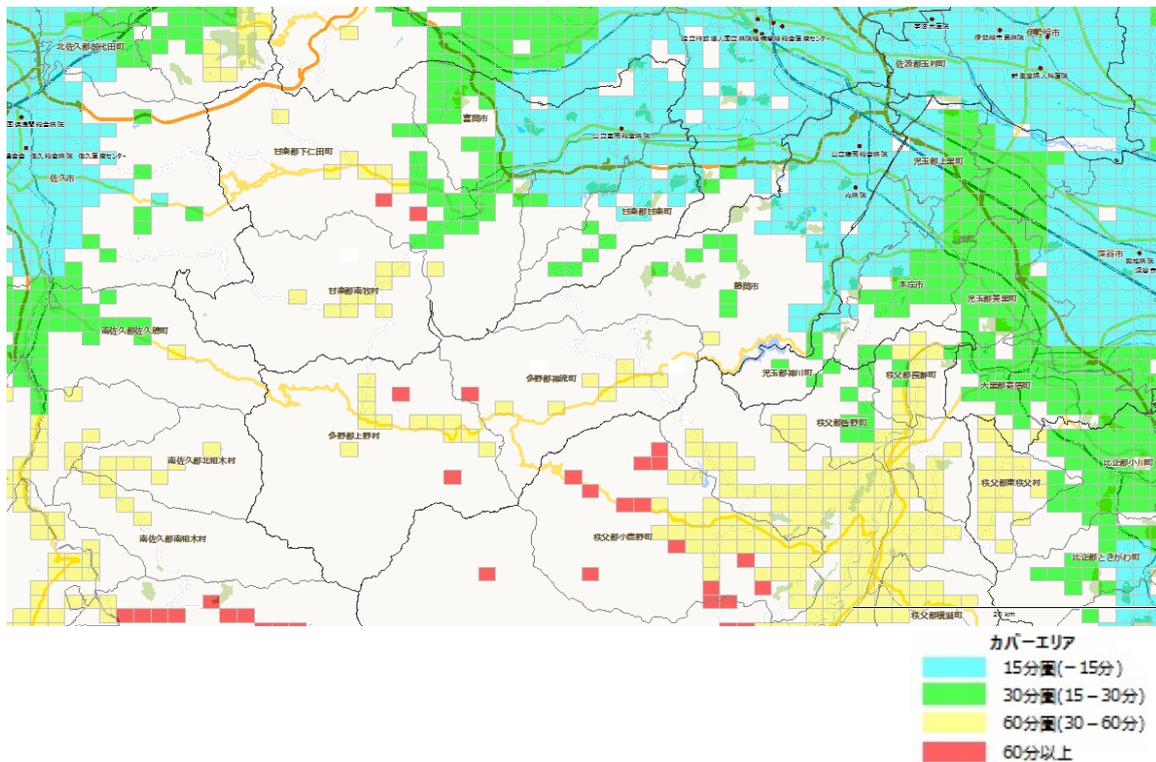
(藤岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

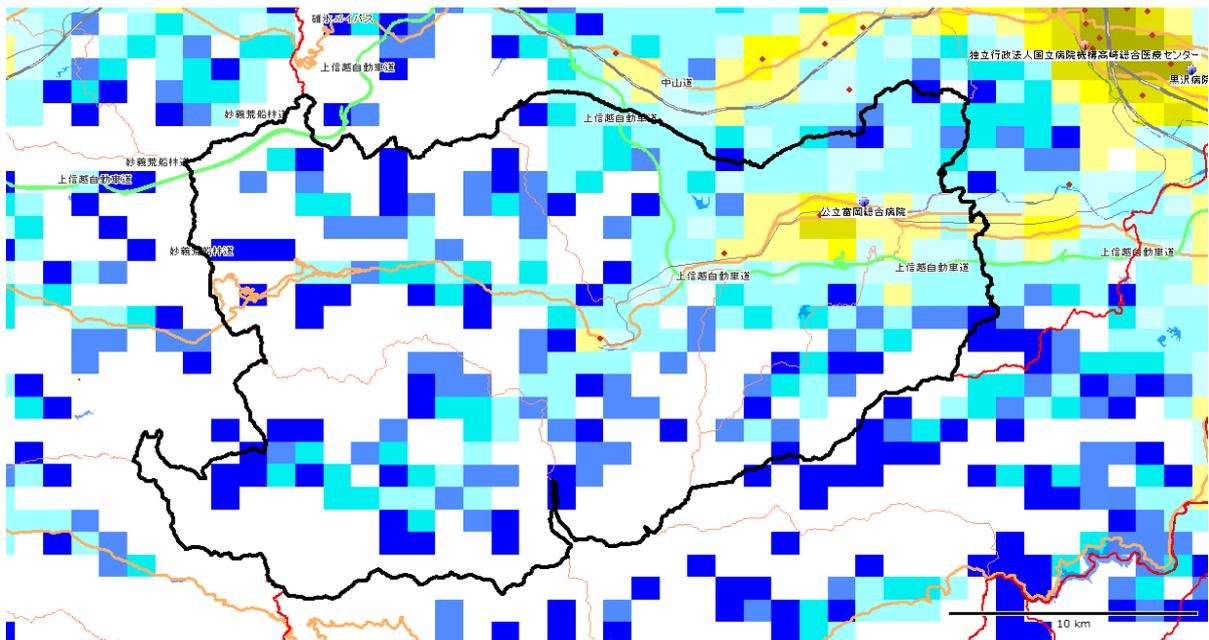


10-5. とみおか 富岡医療圏

構成市区町村 [富岡市](#) [下仁田町](#) [南牧村](#) [甘楽町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ



(富岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 富岡(富岡市)は、総人口約72千人(2015年)、面積489km²、人口密度は148人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 富岡の総人口は2025年に63千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に50千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて15千人へと増加し(2015年比+15%)、2040年には15千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 富岡の一人当たり医療費(国保)は321千円(偏差値44)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 富岡の一人当たり急性期医療密度指数は0.63、一人当たり慢性期医療密度指数は1.02で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48(病院医師数46、診療所医師数53)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。富岡には、年間全身麻酔件数が1000例以上の公立富岡総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は61で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 富岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,610人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,225床(偏差値77)、高齢者住宅等が385床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,180人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム69、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム42、軽費ホーム51、グループホーム52、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、69人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰さみである。

(富岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

富岡医療圏の総人口は、2005年81,151人が、2015年に72,489人と11%減少し、2025年の人口が63,459人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

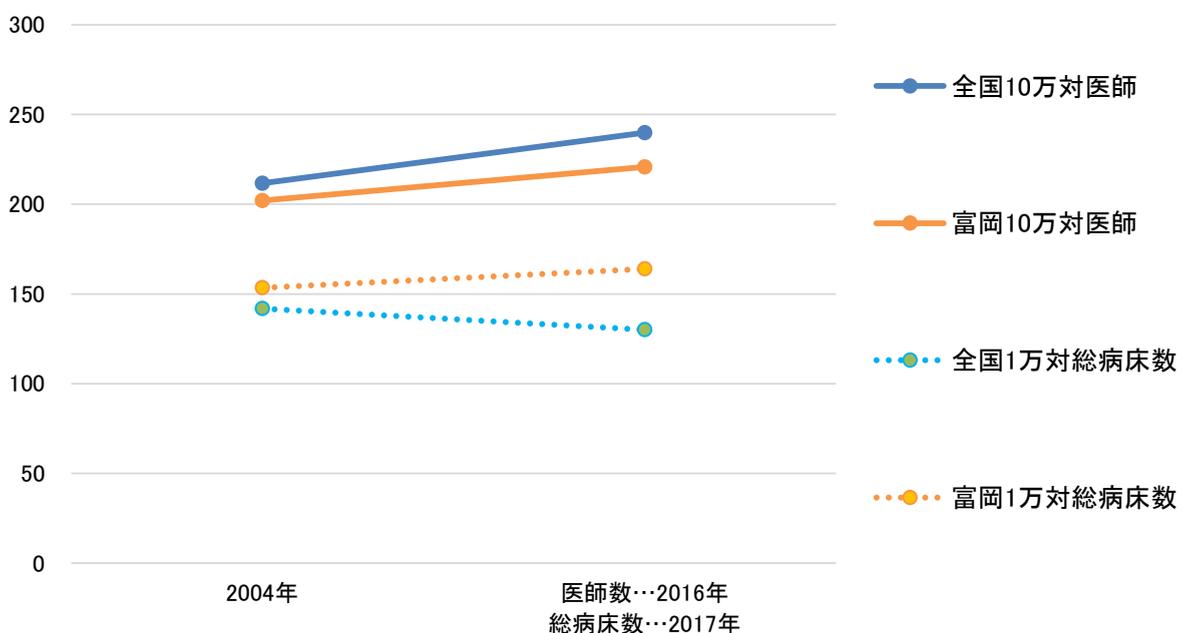
2004年の病院数が5(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2017年に5(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が57(人口10万人当たり70診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2017年に60(人口10万人当たり83診療所(全国平均80)偏差値52)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が1,245床(人口1万人当たり153(全国平均142)偏差値52)であったが、2017年に1,189床(人口1万人当たり164(全国平均130)偏差値56)と、56床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

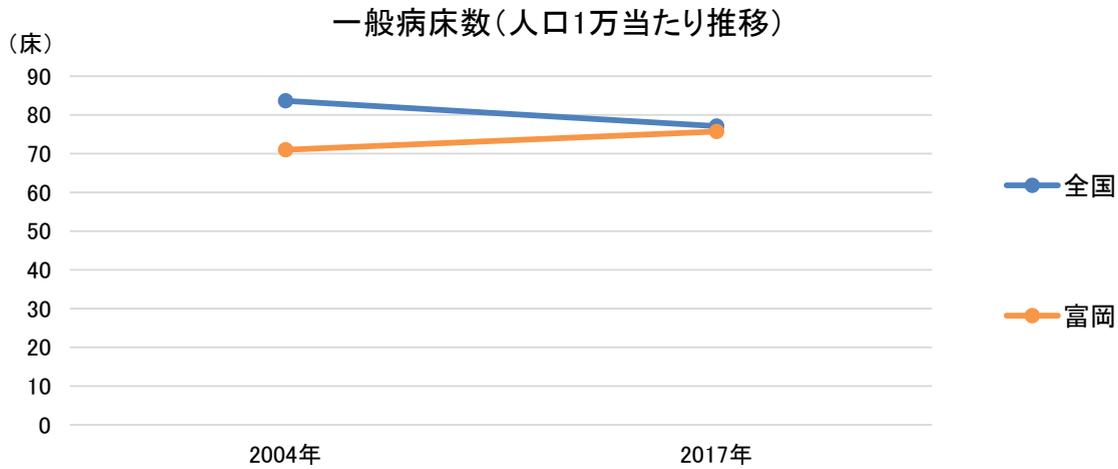
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が164人(人口10万人当たり202人(全国平均212人)偏差値49)であったが、2016年に160人(人口10万人当たり221人(全国平均240人)偏差値48)と、4人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



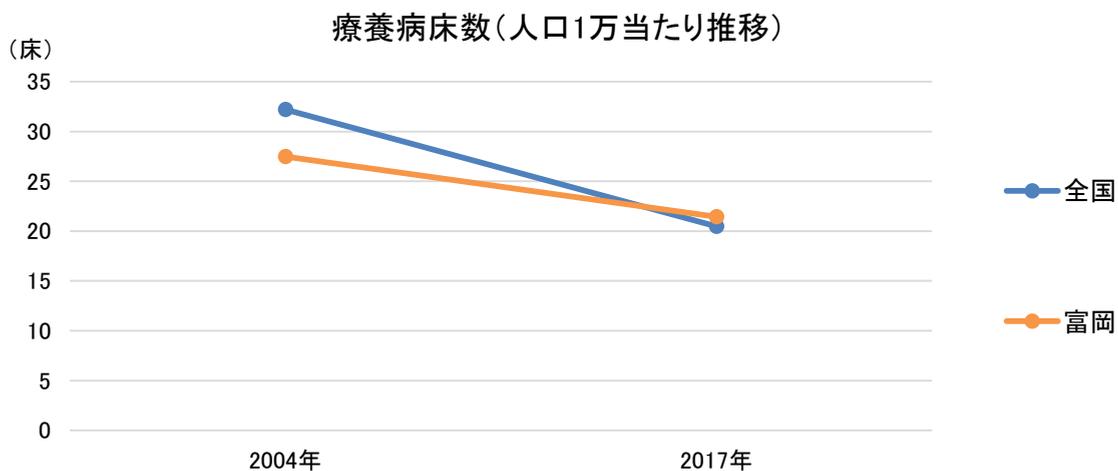
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が576床(人口1万人当たり71(全国平均84)偏差値46)であったが、2017年に549床(人口1万人当たり76(全国平均77)偏差値49)と、27床の減少、率にして5%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



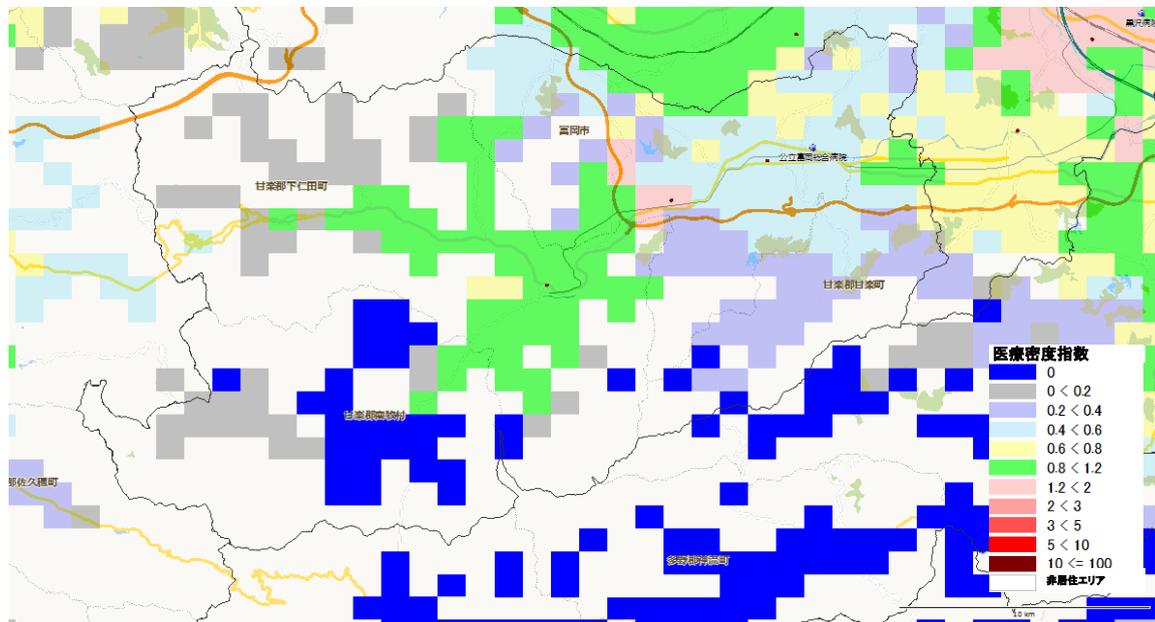
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が305床(75歳以上1,000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に276床(75歳以上1,000人当たり21(全国平均20)偏差値51)と、29床の減少、率にして10%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



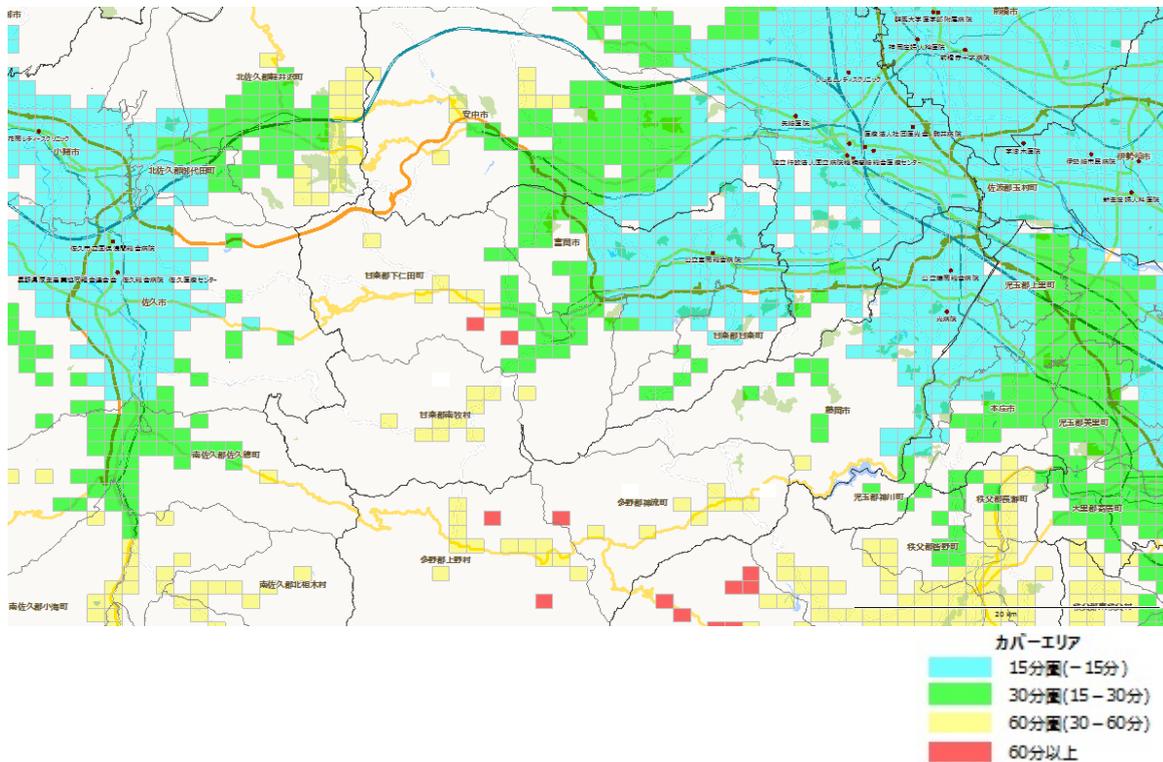
(富岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

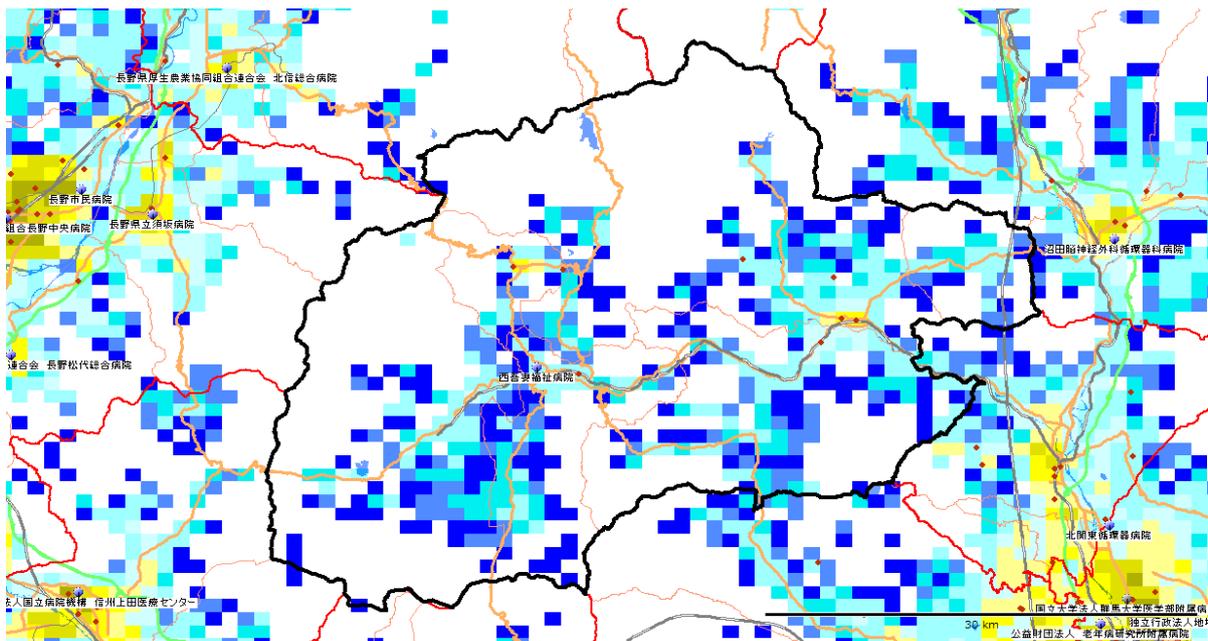


10-6. あづま 吾妻医療圏

構成市区町村 [中之条町](#) [長野原町](#) [嬬恋村](#) [草津町](#)
[高山村](#) [東吾妻町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(吾妻医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 吾妻(吾妻郡中之条町)は、総人口約56千人(2015年)、面積1,279km²、人口密度は44人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 吾妻の総人口は2025年に47千人へと減少し(2015年比-16%)、2040年に35千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 吾妻の一人当たり医療費(国保)は350千円(偏差値51)、介護給付費は230千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 吾妻の一人当たり急性期医療密度指数は0.6、一人当たり慢性期医療密度指数は2.13で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数41、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は54とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は81で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。吾妻には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は80と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値76と非常に多く、回復期病床数は偏差値96と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 吾妻の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、987人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が673床(偏差値50)、高齢者住宅等が314床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、733人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム44、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム56、サ高住37である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、62人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(吾妻医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

吾妻医療圏の総人口は、2005年65,619人が、2015年に56,391人と14%減少し、2025年の人口が47,325人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

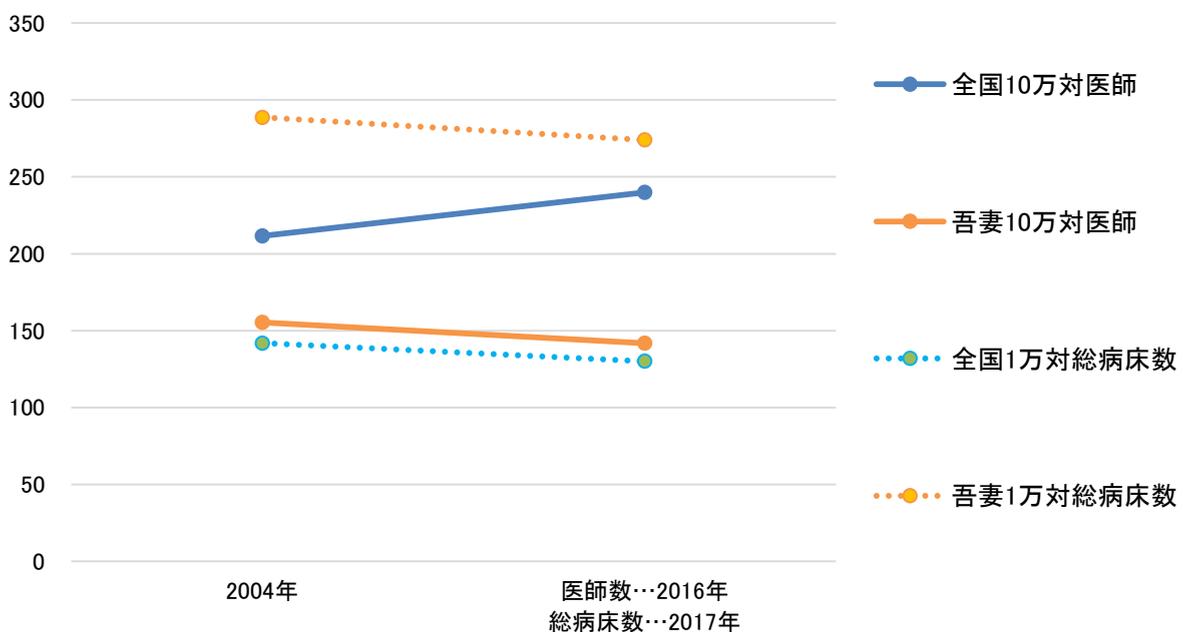
2004年の病院数が9(人口10万人当たり13.7病院(全国平均7.1)偏差値67)であったが、2017年に4(人口10万人当たり7.1病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が37(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2017年に35(人口10万人当たり62診療所(全国平均80)偏差値41)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,894床(人口1万人当たり289(全国平均142)偏差値76)であったが、2017年に1,545床(人口1万人当たり274(全国平均130)偏差値77)と、349床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

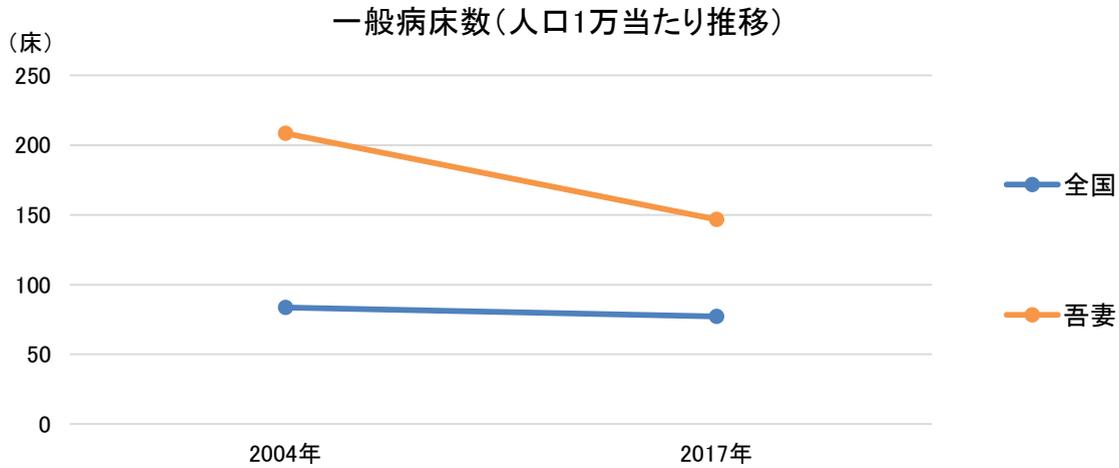
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が102人(人口10万人当たり155人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2016年に80人(人口10万人当たり142人(全国平均240人)偏差値39)と、22人の減少、率にして22%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



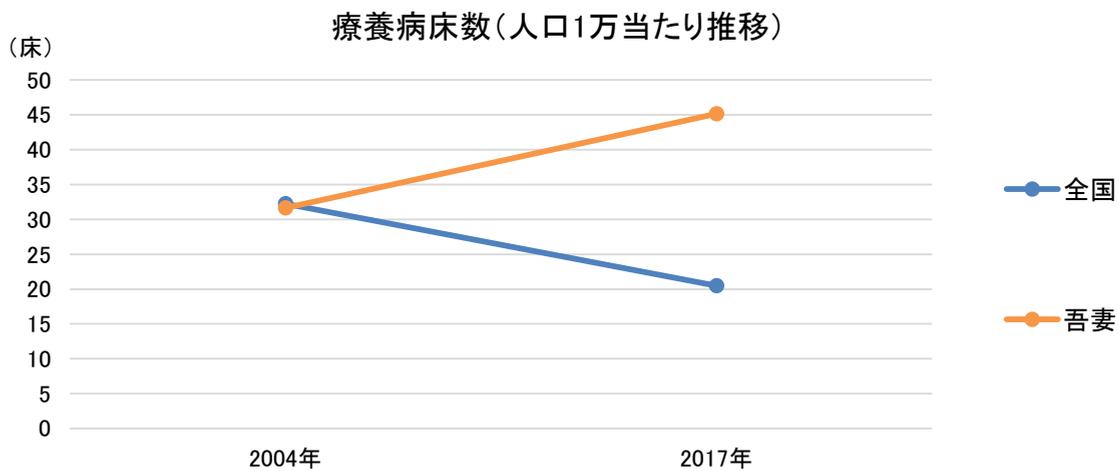
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,368床(人口1万人当たり208(全国平均84)偏差値94)であったが、2017年に827床(人口1万人当たり147(全国平均77)偏差値77)と、541床の減少、率にして40%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



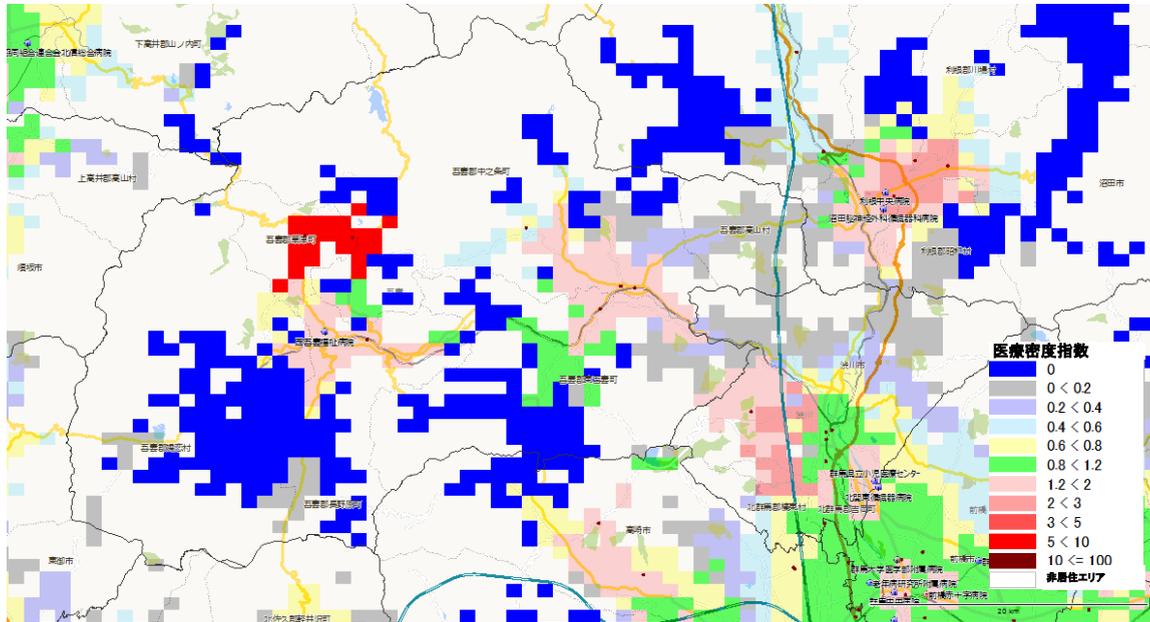
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が299床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2017年に491床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均20)偏差値72)と、192床の増加、率にして64%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



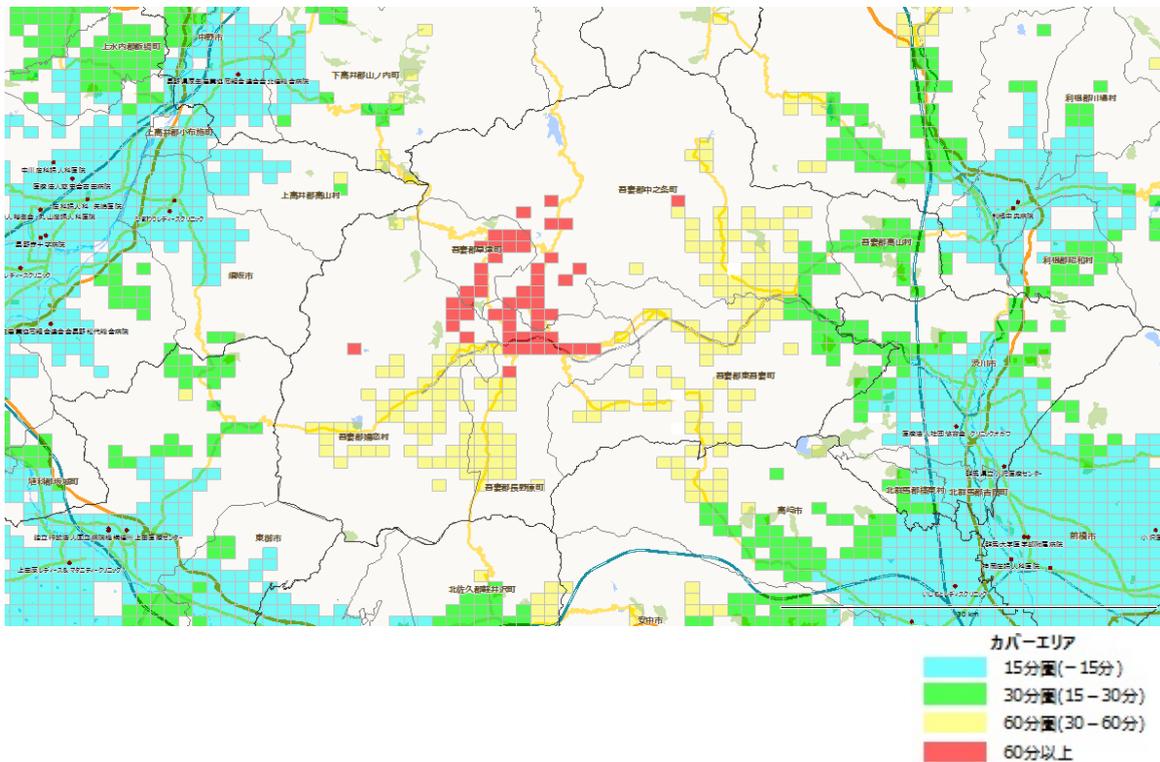
(吾妻医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400））

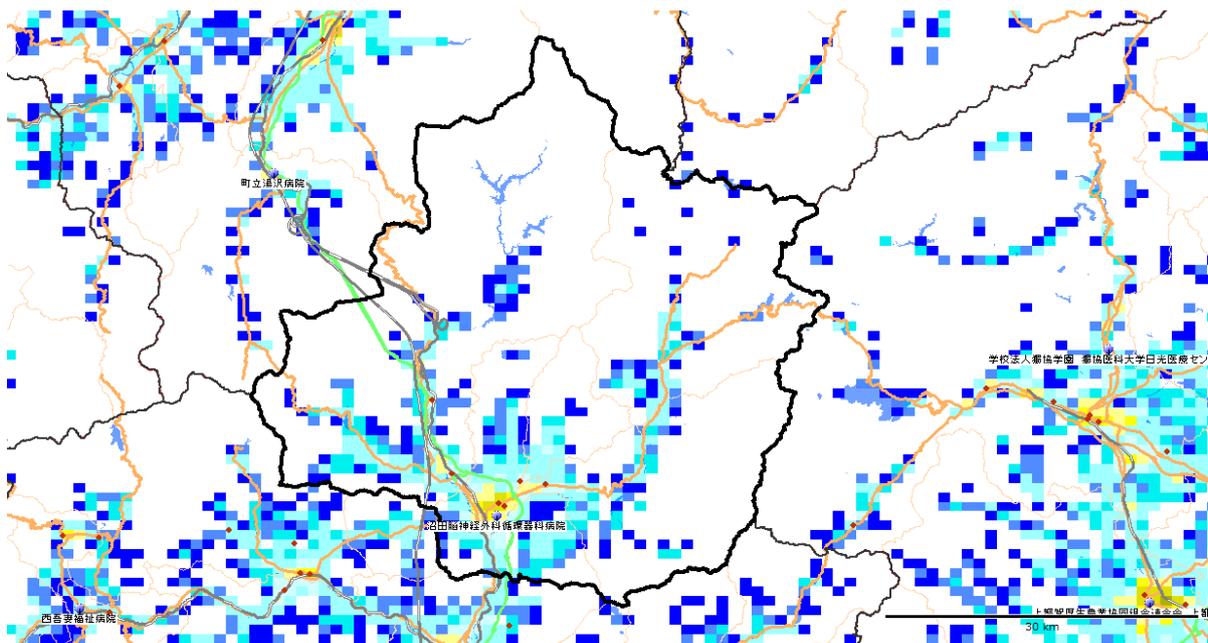


10-7. ぬまた 沼田医療圏

構成市区町村 [沼田市](#) [片品村](#) [川場村](#) [昭和村](#)
[みなかみ町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(沼田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 沼田(沼田市)は、総人口約83千人(2015年)、面積1,766km²、人口密度は47人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 沼田の総人口は2025年に72千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に55千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の15千人が、2025年にかけて16千人へと増加し(2015年比+7%)、2040年には16千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 沼田の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値43)、介護給付費は279千円(偏差値58)であり、医療費は低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 沼田の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は1.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数43、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。沼田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値68と非常に多く、回復期病床数は偏差値68と非常に多い。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 沼田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,757人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,018床(偏差値56)、高齢者住宅等が739床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,310人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム59、軽費ホーム53、グループホーム50、サ高住46である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、117人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(沼田医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

沼田医療圏の総人口は、2005年93,927人が、2015年に83,407人と11%減少し、2025年の人口が71,843人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

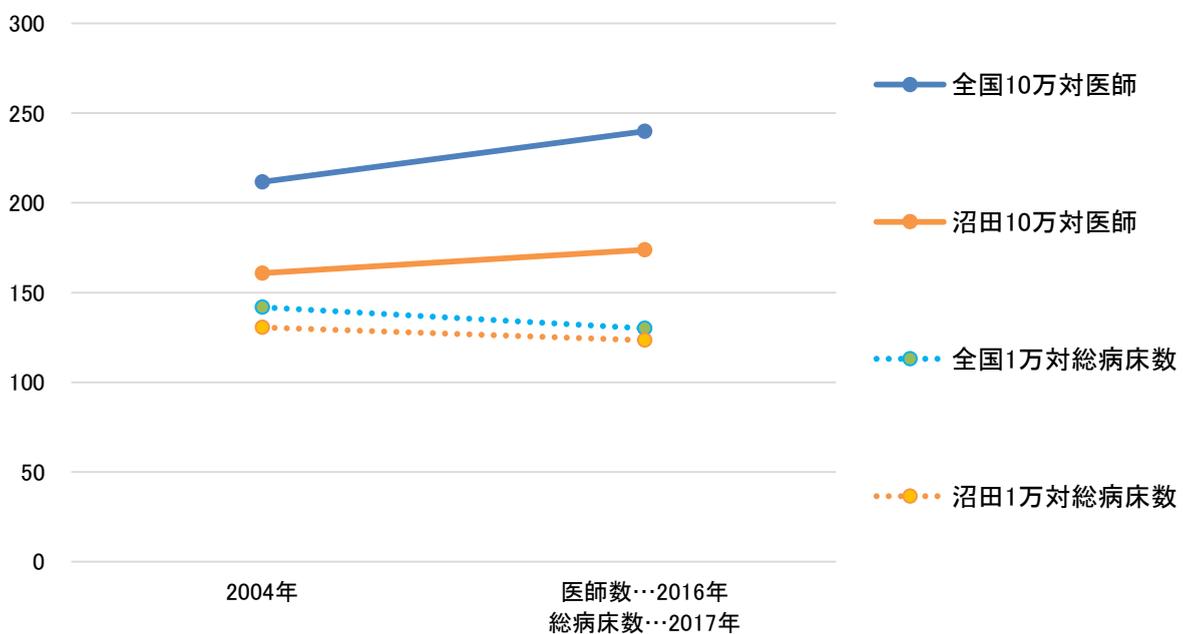
2004年の病院数が7(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2017年に9(人口10万人当たり10.8病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が58(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2017年に56(人口10万人当たり67診療所(全国平均80)偏差値43)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,227床(人口1万人当たり131(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に1,030床(人口1万人当たり123(全国平均130)偏差値49)と、197床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

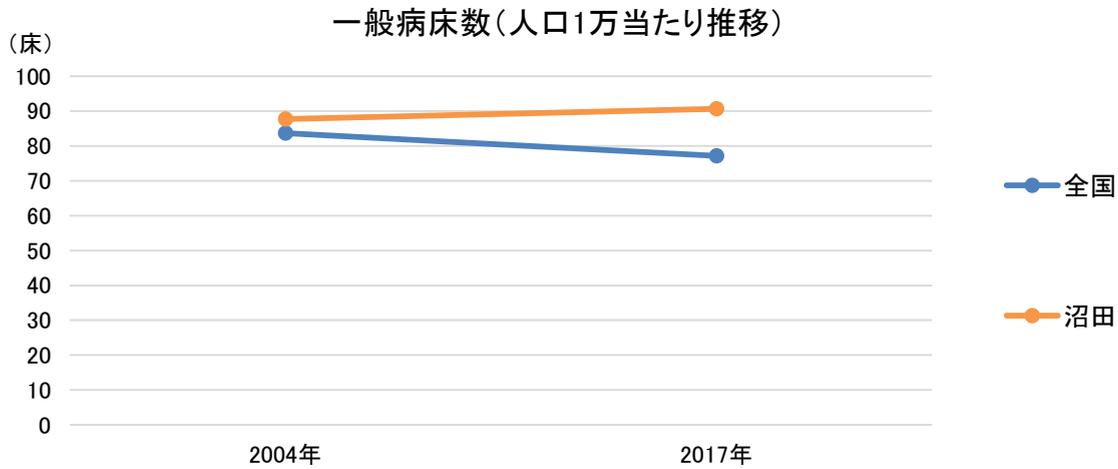
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が151人(人口10万人当たり161人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に145人(人口10万人当たり174人(全国平均240人)偏差値43)と、6人の減少、率にして4%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



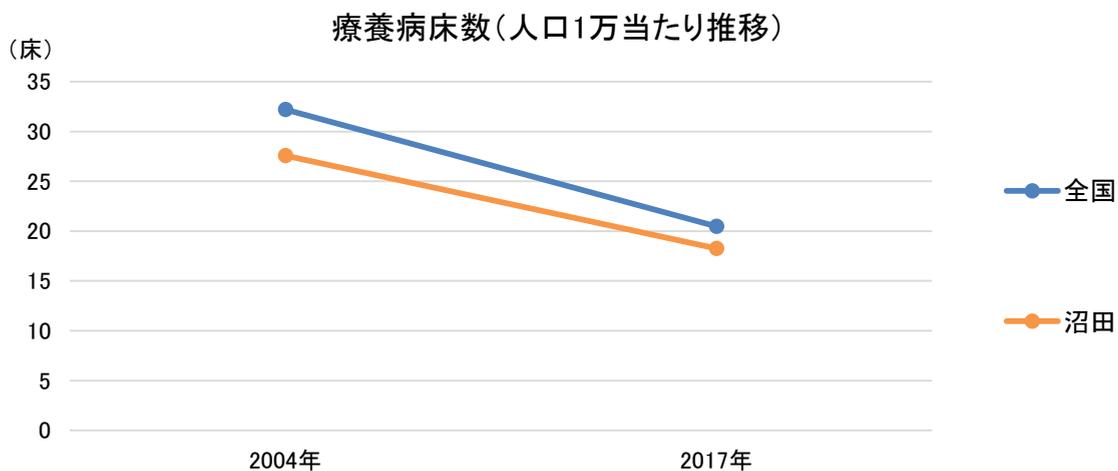
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が824床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値51)であったが、2017年に756床(人口1万人当たり91(全国平均77)偏差値55)と、68床の減少、率にして8%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



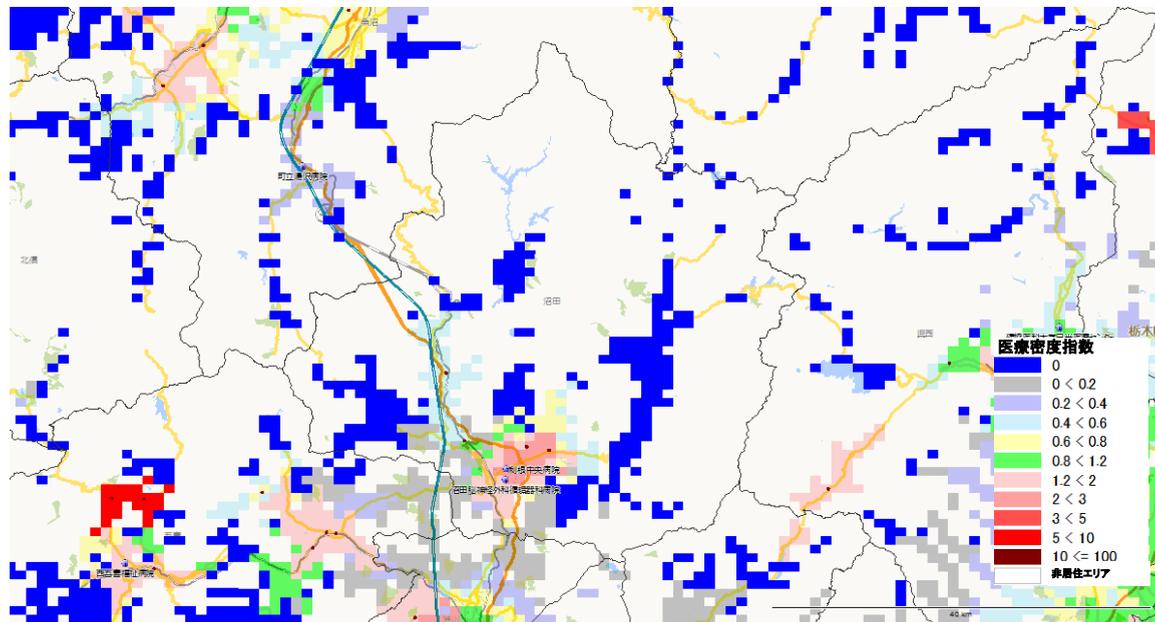
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が351床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に270床(75歳以上1,000人当たり18(全国平均20)偏差値48)と、81床の減少、率にして23%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



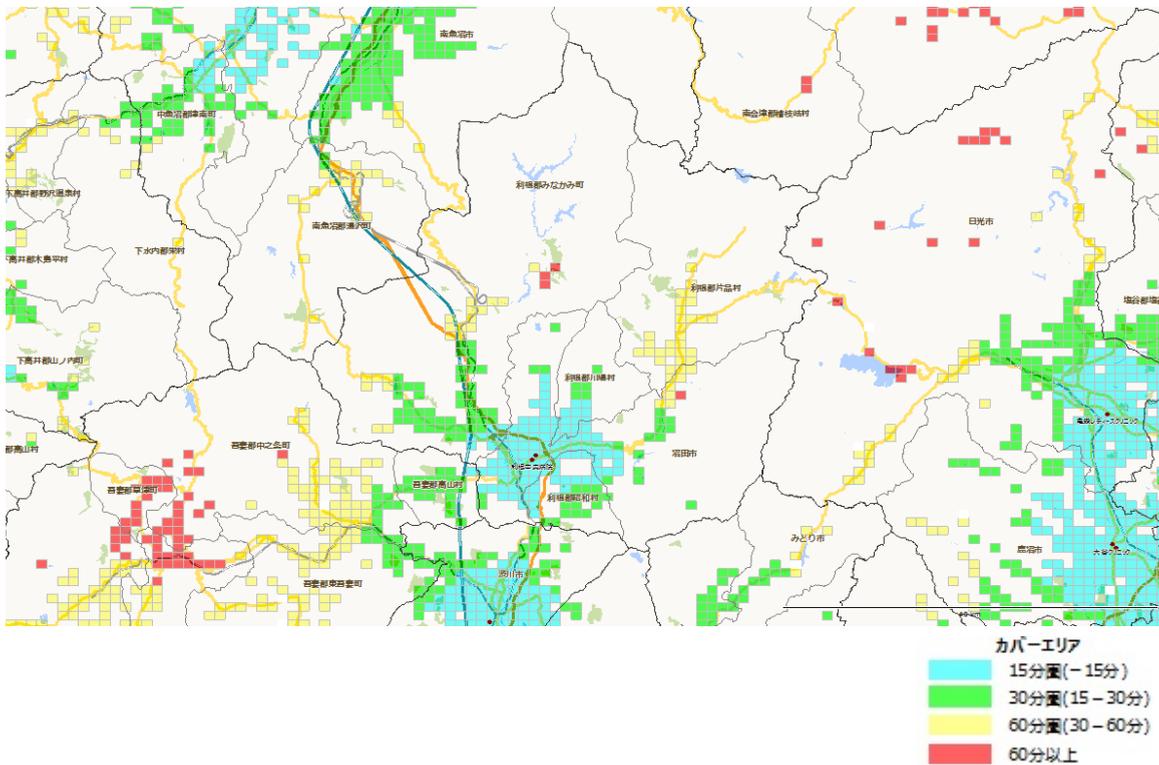
(沼田医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

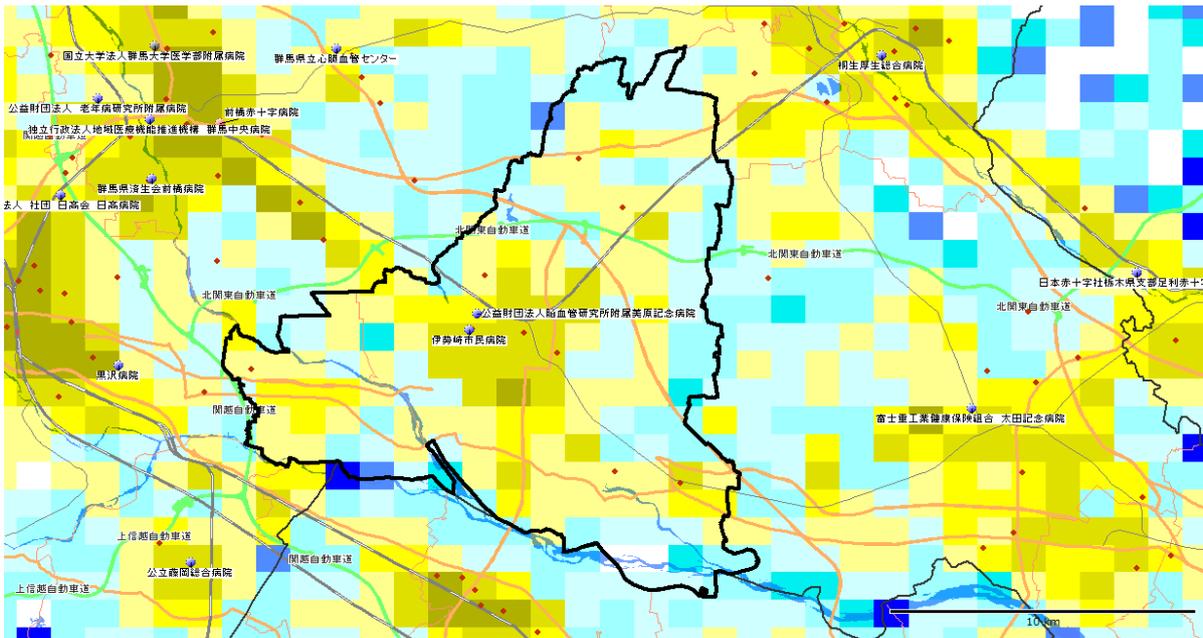


10-8. いせさき伊勢崎医療圏

構成市区町村 [伊勢崎市](#) [玉村町](#)

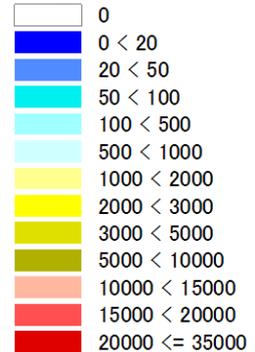
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(伊勢崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 伊勢崎(伊勢崎市)は、総人口約245千人(2015年)、面積165km²、人口密度は1,486人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 伊勢崎の総人口は2025年に241千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に223千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には42千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 伊勢崎の一人当たり医療費(国保)は296千円(偏差値38)、介護給付費は246千円(偏差値48)であり、医療費は低いが、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 伊勢崎の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は0.74で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数41、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。伊勢崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の伊勢崎市民病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 伊勢崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,811人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,757床(偏差値54)、高齢者住宅等が1,054床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,326人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住67である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、383人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-41%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(伊勢崎医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

伊勢崎医療圏の総人口は、2005年240,615人が、2015年に245,468人と2%増加し、2025年の人口が240,843人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

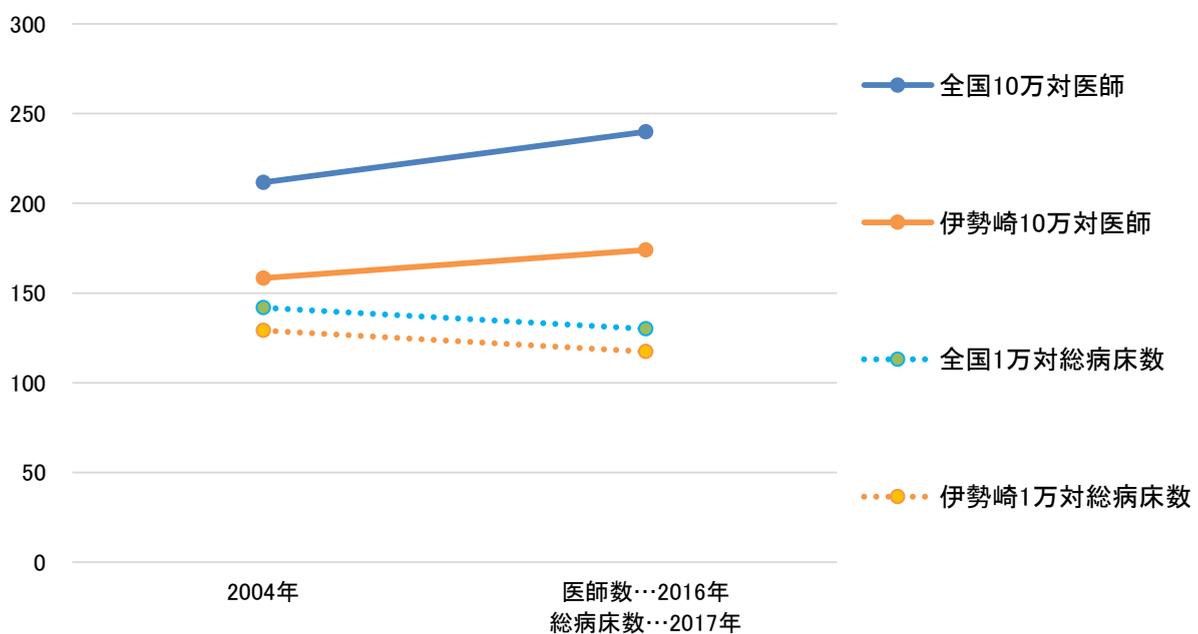
2004年の病院数が11(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2017年に7(人口10万人当たり2.9病院(全国平均6.6)偏差値42)となり、13年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が159(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2017年に169(人口10万人当たり69診療所(全国平均80)偏差値44)と、10診療所が増加した。

2004年の総病床数が3,109床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に2,882床(人口1万人当たり117(全国平均130)偏差値48)と、227床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

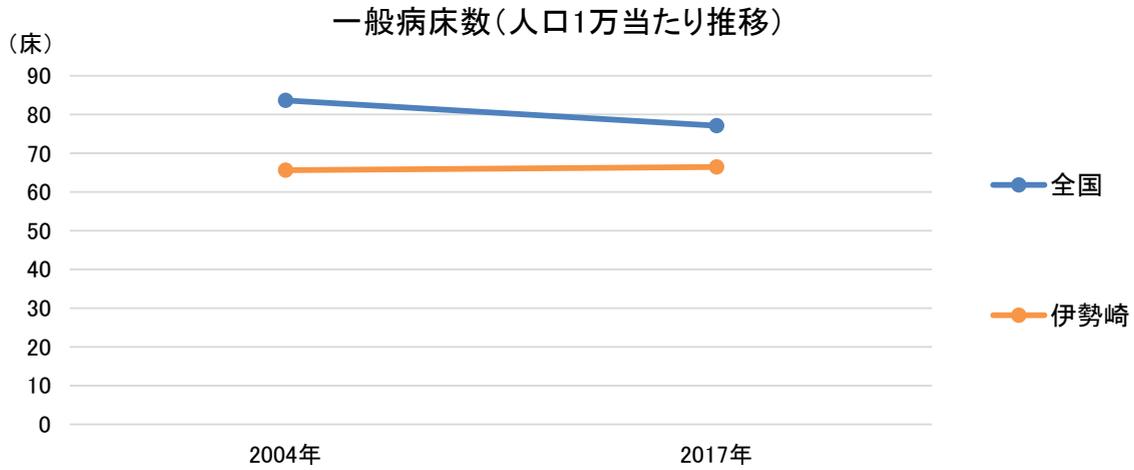
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が381人(人口10万人当たり158人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に427人(人口10万人当たり174人(全国平均240人)偏差値43)と、46人の増加、率にして12%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



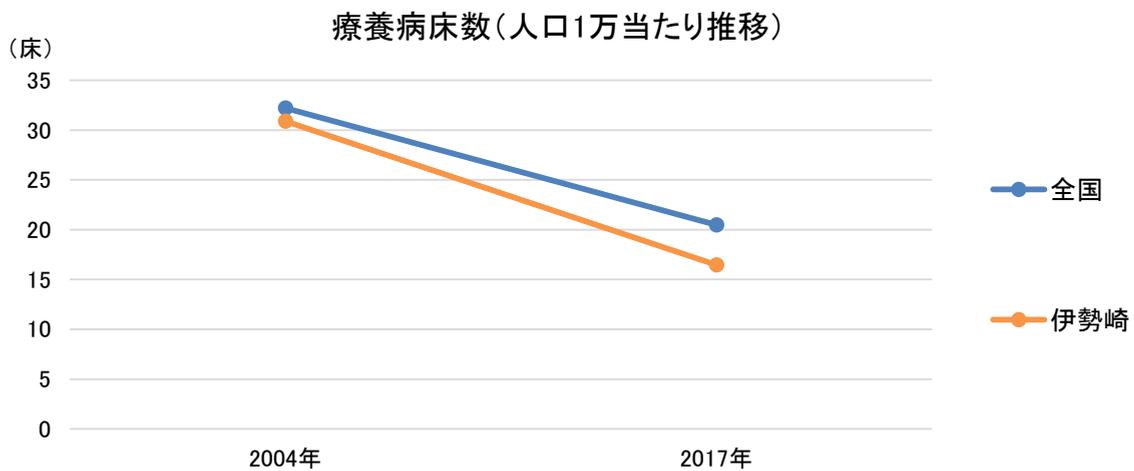
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,579床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に1,631床(人口1万人当たり66(全国平均77)偏差値46)と、52床の増加、率にして3%の増加(全国平均8%の減少)が見られた。



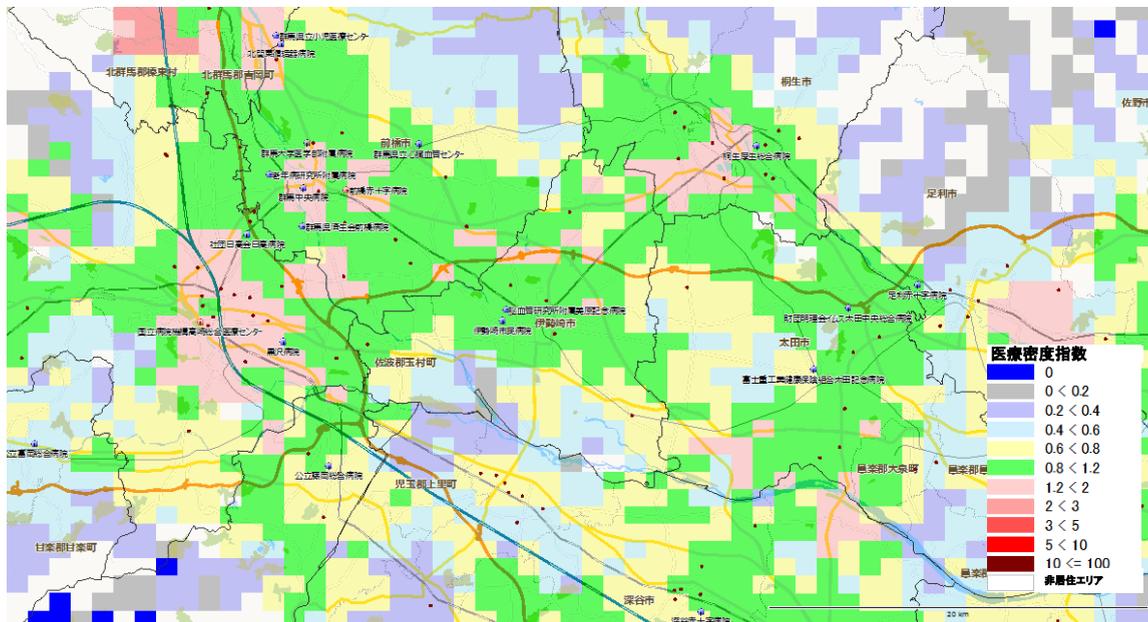
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が586床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2017年に438床(75歳以上1,000人当たり16(全国平均20)偏差値46)と、148床の減少、率にして25%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



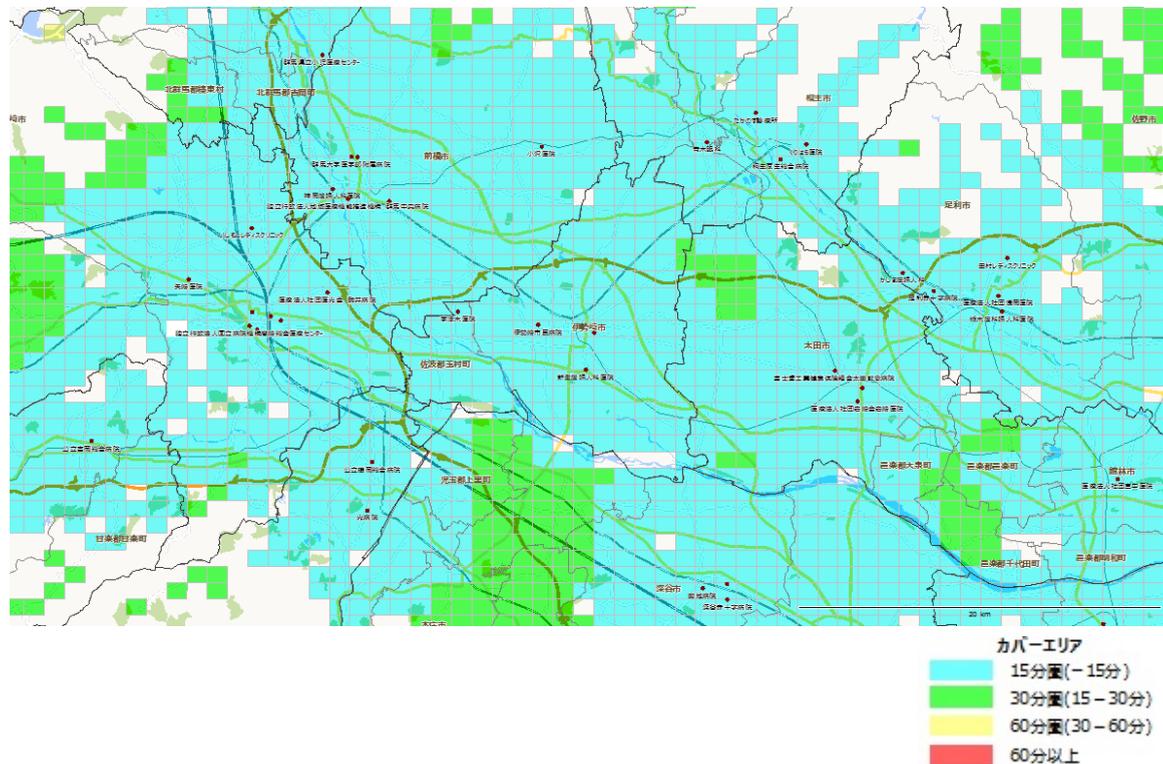
(伊勢崎医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

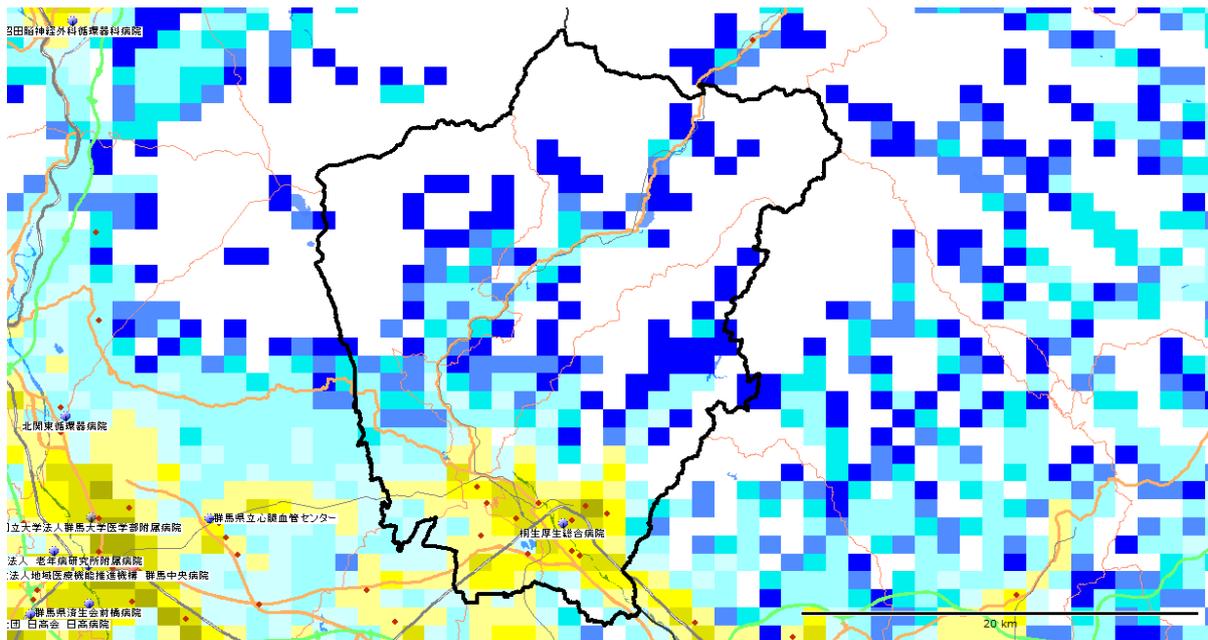


10-9. きりゅう 桐生医療圏

構成市区町村 [桐生市](#) [みどり市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ



(桐生医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 桐生(桐生市)は、総人口約166千人(2015年)、面積483km²、人口密度は343人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 桐生の総人口は2025年に146千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に116千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて32千人へと増加し(2015年比+28%)、2040年には28千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 桐生の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値50)、介護給付費は272千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 桐生の一人当たり急性期医療密度指数は0.91、一人当たり慢性期医療密度指数は1.16で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。桐生には、年間全身麻酔件数が500例以上の桐生厚生総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 桐生の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,473人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,827床(偏差値59)、高齢者住宅等が646床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,195人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム40、軽費ホーム54、グループホーム45、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、390人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(桐生医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

桐生医療圏の総人口は、2005年180,152人が、2015年に165,620人と8%減少し、2025年の人口が146,428人と予測され、2005年→2025年の間に19%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

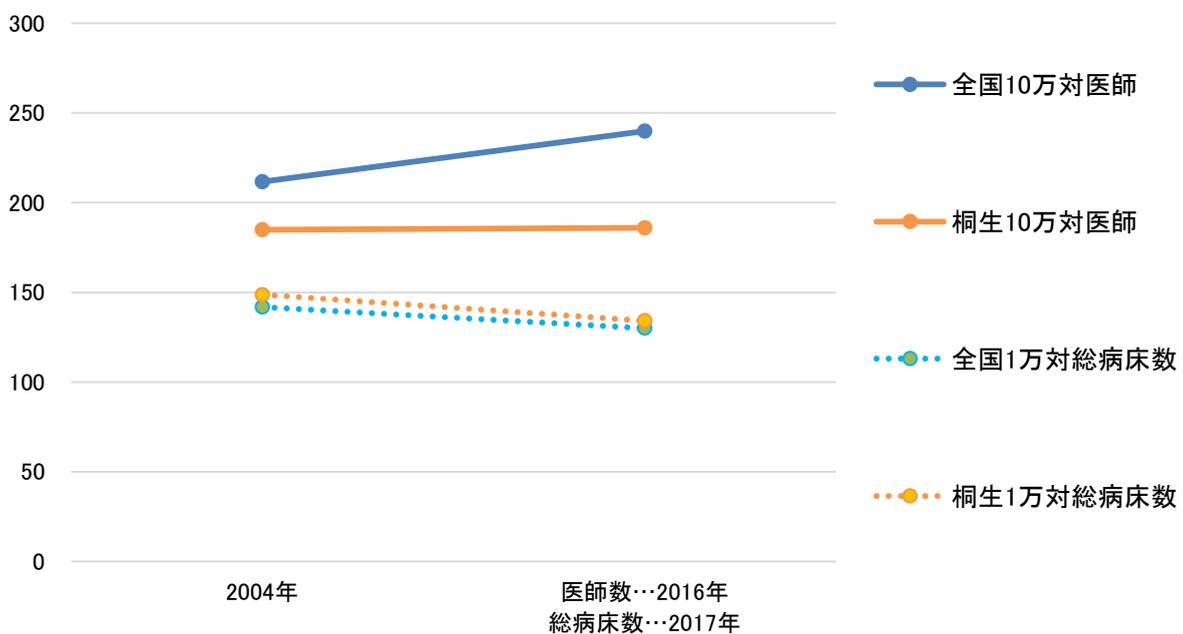
2004年の病院数が14(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2017年に12(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が146(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2017年に132(人口10万人当たり80診療所(全国平均80)偏差値50)と、14診療所が減少した。

2004年の総病床数が2,679床(人口1万人当たり149(全国平均142)偏差値51)であったが、2017年に2,222床(人口1万人当たり134(全国平均130)偏差値51)と、457床の減少、率にして17%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

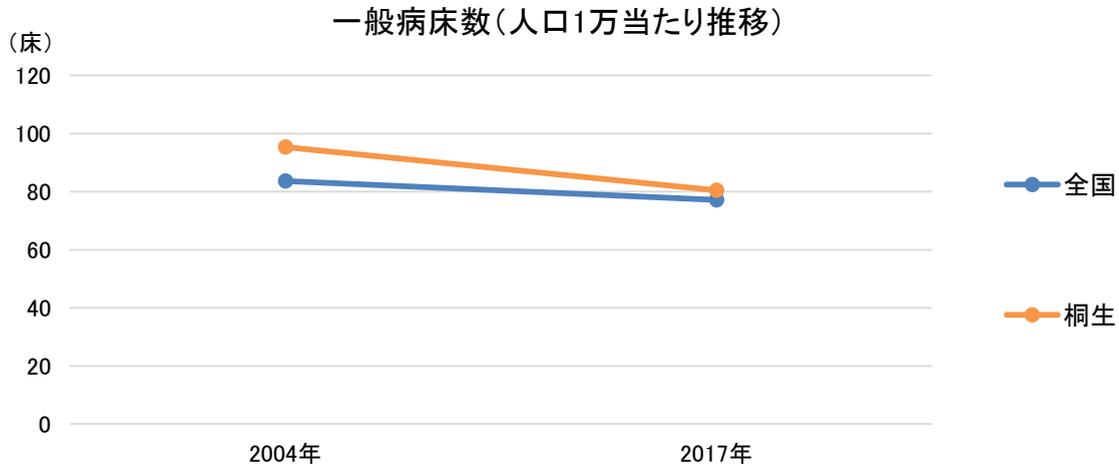
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が333人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2016年に308人(人口10万人当たり186人(全国平均240人)偏差値44)と、25人の減少、率にして8%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



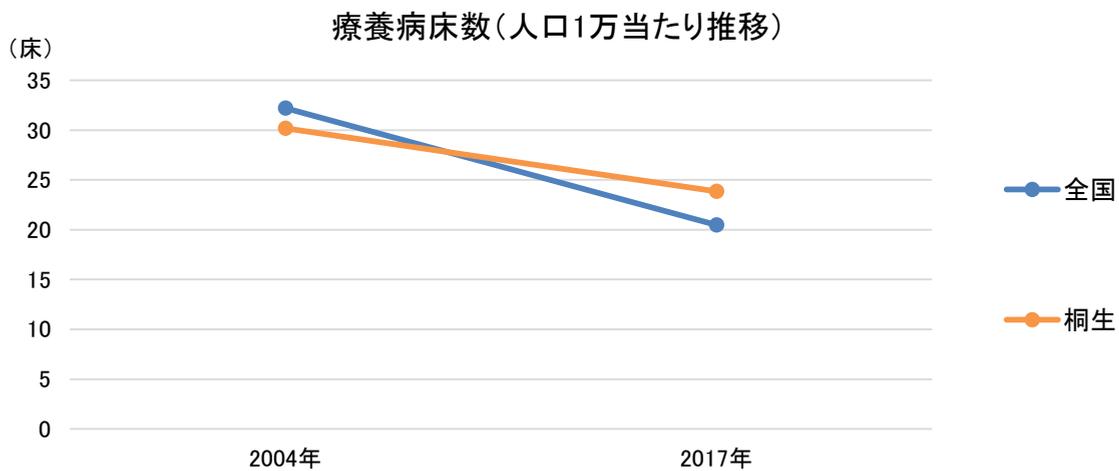
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,717床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2017年に1,333床(人口1万人当たり80(全国平均77)偏差値51)と、384床の減少、率にして22%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



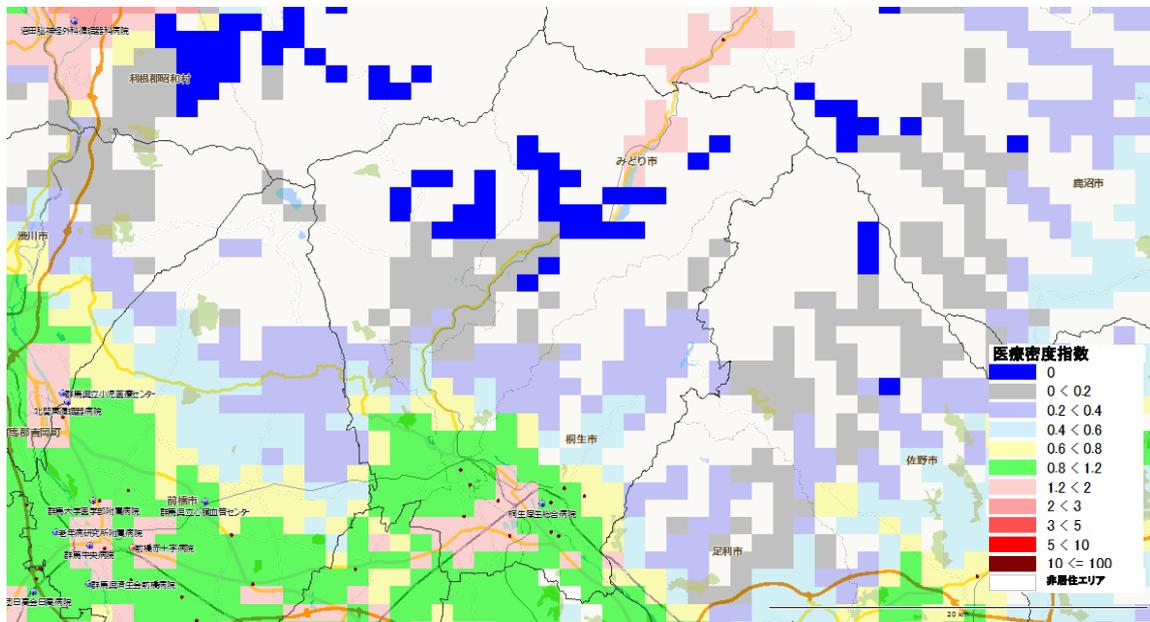
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が592床(75歳以上1,000人当たり30(全国平均32)偏差値49)であったが、2017年に599床(75歳以上1,000人当たり24(全国平均20)偏差値53)と、7床の増加、率にして1%の増加(全国平均11%の減少)が見られた。



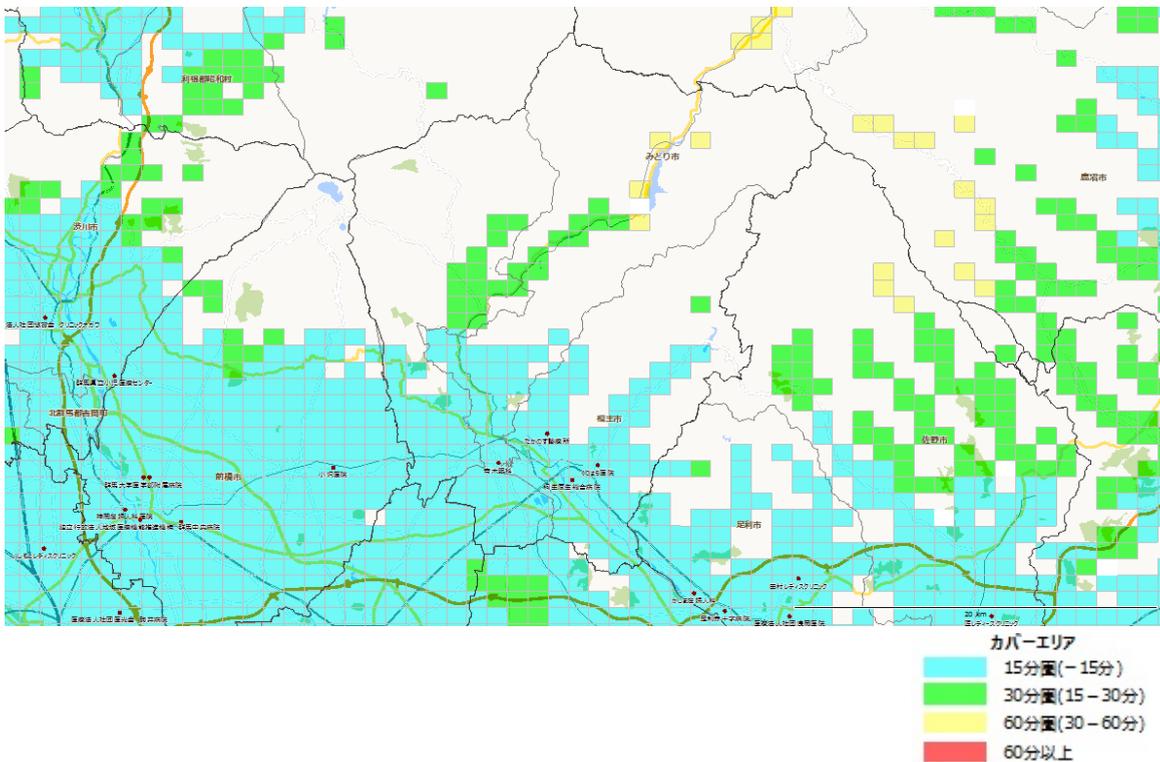
(桐生医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-9-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

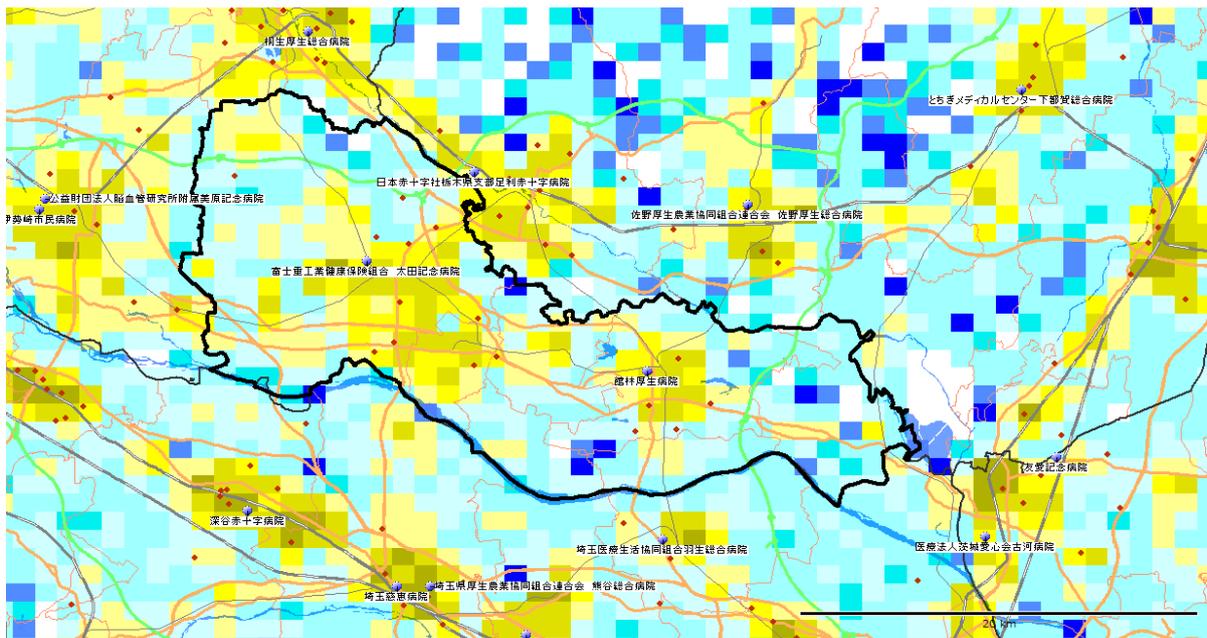


10-10. お お た た て ば や し 太田・館林医療圏

構成市区町村 [太田市](#) [館林市](#) [板倉町](#) [明和町](#)
[千代田町](#) [大泉町](#) [邑楽町](#)

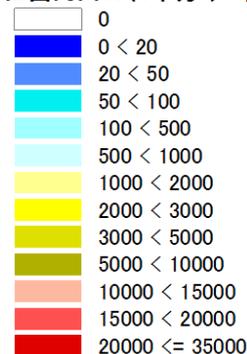
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(太田・館林医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 太田・館林(太田市)は、総人口約401千人(2015年)、面積369km²、人口密度は1,088人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 太田・館林の総人口は2025年に390千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に351千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて64千人へと増加し(2015年比+49%)、2040年には64千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 太田・館林の一人当たり医療費(国保)は306千円(偏差値41)、介護給付費は227千円(偏差値43)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 太田・館林の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は0.8で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数40、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。太田・館林には、年間全身麻酔件数が2000例以上の太田記念病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の群馬県立がんセンター(Ⅲ群)、500例以上の公立館林厚生病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は偏差値45とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 太田・館林の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5,391人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,398床(偏差値64)、高齢者住宅等が1,993床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,335人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム50、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム51、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、431人(75歳以上1,000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数ではほぼ対応可能である。

(太田・館林医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

太田・館林医療圏の総人口は、2005年400,402人が、2015年に401,479人と1%未満増加し、2025年の人口が389,500人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

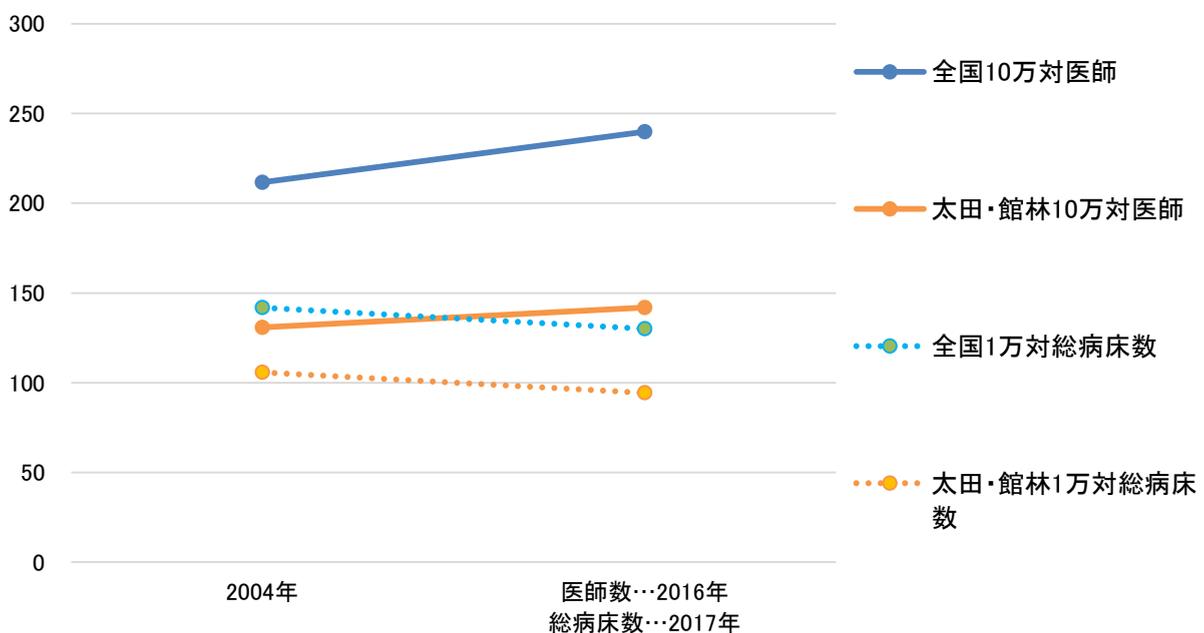
2004年の病院数が20(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2017年に19(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.6)偏差値46)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が225(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2017年に263(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値42)と、38診療所が増加した。

2004年の総病床数が4,238床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2017年に3,789床(人口1万人当たり94(全国平均130)偏差値43)と、449床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

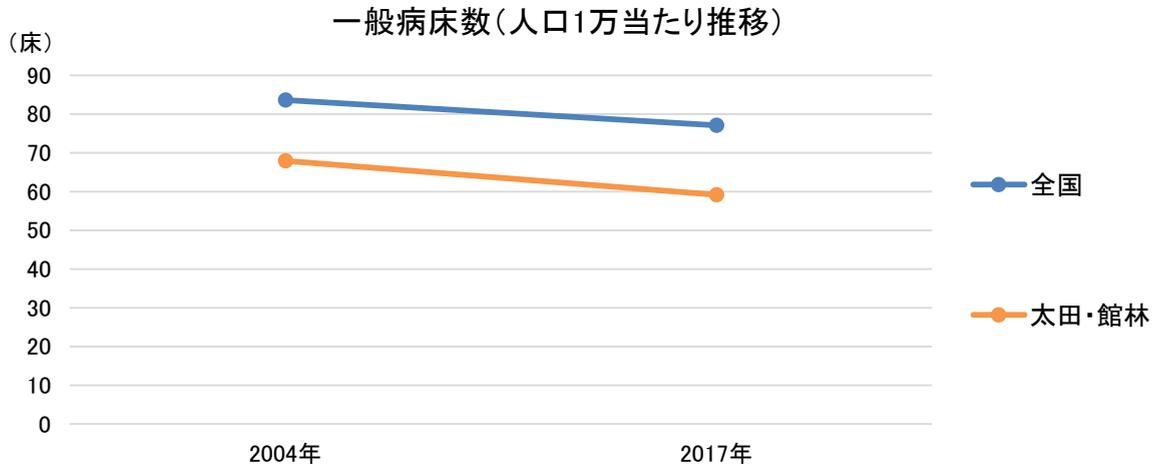
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が524人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に570人(人口10万人当たり142人(全国平均240人)偏差値39)と、46人の増加、率にして9%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



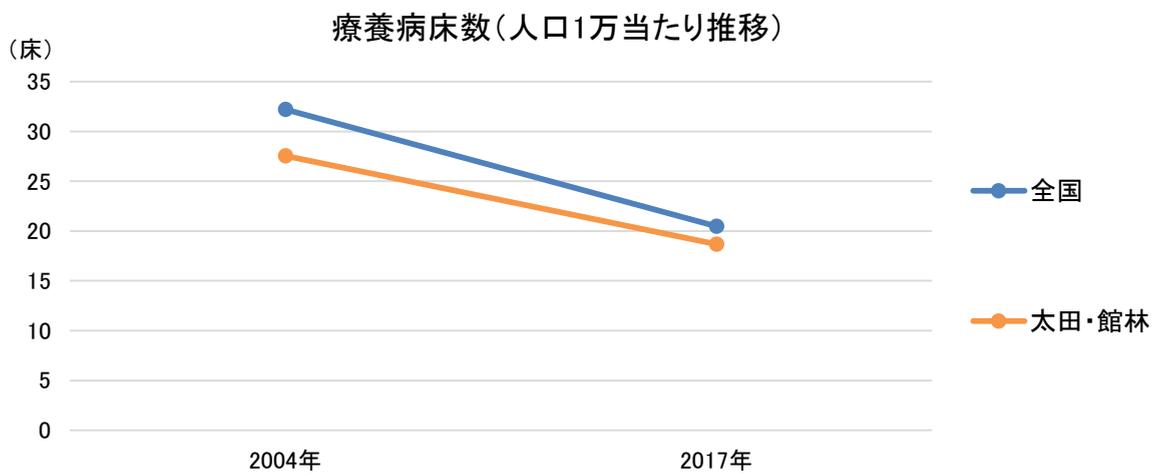
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,722床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値44)であったが、2017年に2,377床(人口1万人当たり59(全国平均77)偏差値43)と、345床の減少、率にして13%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



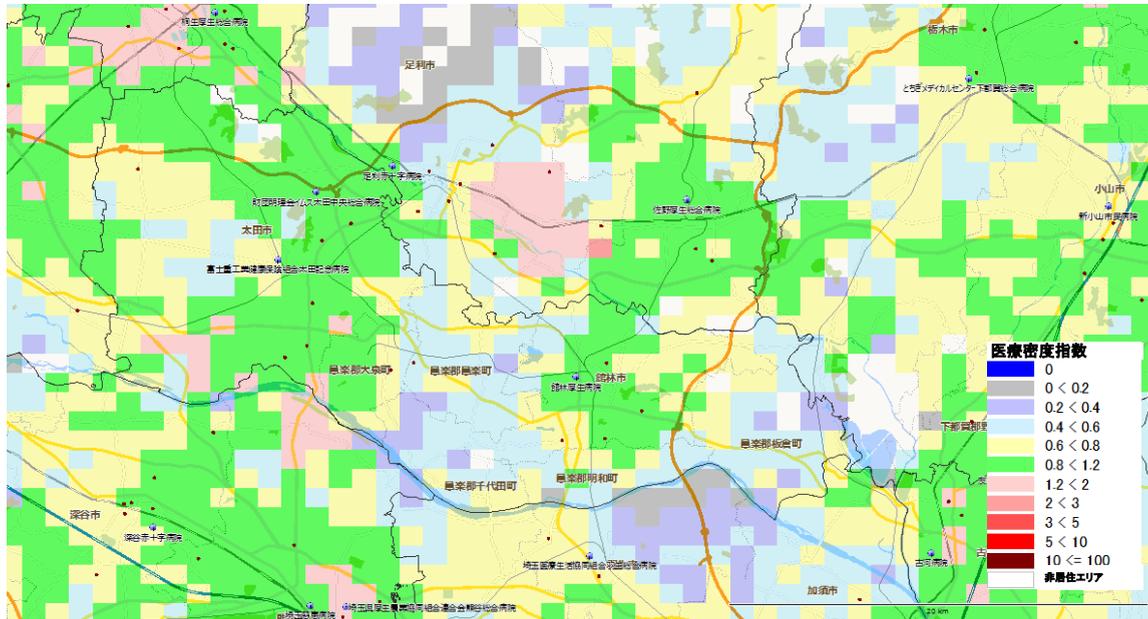
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が893床(75歳以上1,000人当たり28(全国平均32)偏差値47)であったが、2017年に812床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均20)偏差値48)と、81床の減少、率にして9%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



(太田・館林医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表10-10-1 急性期医療密度指数マップ



図表10-10-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

